

千代田区エリアマネジメント活動  
推進ガイドライン  
素案（案）

令和4年12月

千代田区

# 目次

<b>第 1 章 千代田区エリアマネージメント活動推進ガイドラインの概要</b> .....	<b>1</b>
1 社会等の背景 .....	1
2 千代田区における背景.....	2
3 目的 .....	3
4 千代田区におけるエリアマネージメント活動 .....	4
5 位置づけ.....	10
<b>第 2 章 エリアマネージメント活動の事例</b> .....	<b>11</b>
<b>第 3 章 エリアマネージメント活動の可能性</b> .....	<b>26</b>
<b>第 4 章 エリアマネージメント活動で利用できる制度等</b> .....	<b>34</b>
<b>第 5 章 エリアマネージメント活動の流れ</b> .....	<b>70</b>
<b>第 6 章 エリアマネージメント活動の展開に向けて</b> .....	<b>74</b>

# －本ガイドラインの使い方－

## 第1章

### 千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドラインの概要

「エリアマネジメント活動って何?」「誰が取り組むの」といったことについて、千代田区の考え方を示しています。あなたが地域のためにしたいことが「エリアマネジメント活動」になるのに必要な考え方について見てみましょう。

## 第2章

### エリアマネジメント活動の事例

国内外のエリアマネジメント活動の事例について、経緯や具体的に利用した制度等を含めて紹介しています。あなたのやりたいことの参考になる事例があるかもしれません。

## 第3章

### エリアマネジメント活動の可能性

様々な制度等を利用したら、どんなことができるようになるでしょうか。エリアマネジメント活動として「こんなことができるかも」ということを、利用が想定される制度等とあわせて紹介しています。

## 第4章

### エリアマネジメント活動で利用できる制度等

エリアマネジメント活動を実施するうえで、どのような制度等が利用できるかを紹介しています。あなたが地域のためにしたいことに利用できる制度等について調べてみましょう。  
※エリアマネジメント活動であること以外に要件があるものについては、資料編で紹介しています。

## 第5章

### エリアマネジメント活動の流れ

エリアマネジメント活動を行う際には、様々な制度等を組み合わせていく必要があります。こういったときにどんな制度等が必要となり、どれくらいの時間がかかるのか、活動のケース別に実現に至るまでの流れを確認しましょう。

## 第6章

### エリアマネジメント活動の展開に向けて

エリアマネジメント活動が、区内で広く展開されていくために今後検討していくべき内容等について整理しています。「こんなことも検討してほしい」ということはぜひご意見をお寄せください。随時検討していきます。

# 第 1 章

## 千代田区エリアマネジメント活動 推進ガイドラインの概要

### 1 社会等の背景

- 日本では、成長都市の時代から成熟都市の時代への移行に伴い、官（行政）による民間開発に対する規制を中心とした平均的、画一的な都市づくりを進めるまちづくりから、競争の時代の都市づくりとして、積極的に地域特性を重視し、地域価値を高めるまちづくりが必要になっていきます。
- そのため、まちづくりの中心が開発（デベロップメント）から管理運営（マネジメント）にも配慮したまちづくりになるとともに、地域で住み、働き、学ぶ様々な方々が、主体的に地域に関わって行う取組みであるエリアマネジメント活動が求められてきています。
- 現在、全国各地においてエリアマネジメント活動が行われており、例えば、住宅地では、住民が建築協定等を活用した良好な街並み景観の形成・維持が行われ、業務・商業地では、市街地開発と連動した街並みづくりや地域美化活動、イベントの開催といった活動が行われています。
- そのような中、今後の都市のあり方として、地域資源として存在する官民の既存ストックを核に「居心地がよく歩きたくなるまちなかづくり」いわゆる「ウォーカブルなまちづくり」の機運が高まっています。そして、官民連携で道路活用を促進する「ほこみち（歩行者利便増進道路）」制度や、まちなかウォーカブル推進事業等が創設されるとともに、その担い手として期待される民間事業者、エリアマネジメント団体等に対する各種支援措置が講じられています。
- さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機にオープンスペース等の重要性が再認識される中、オープンスペース等を活用したイベントや日常的な活動が行うことができるように、エリアマネジメント団体等を支える人材育成、制度等の見直し・検討、ノウハウの展開等も必要となっています。

## 2 千代田区における背景

- 千代田区は早くからエリアマネジメント活動が活発化した地域として知られています。複数の大企業の連携によって生まれた法人組織から地元事業者や住民が主導する協議会まで、組織も性格も多彩なものがあります。
- 同じ千代田区の中でも地域によって抱える課題や目指す将来像は異なっており、協議会やエリアマネジメント団体等で地域の将来像やまちづくりの進め方などについて検討・協議し、地域のまちづくりの構想やガイドラインをまとめ、それに対応する様々な取り組みを行っています。
- そのような中、千代田区は令和3年5月に「千代田区都市計画マスタープラン」を改定し、将来像を「つながる都心」として定め、「人中心」の量から質に転換したまちづくりの推進により、都心生活の質（QOL: Quality Of Life）を豊かにしていくことを示しています。
- そして、「つながる都心」の実現に向け、千代田区ならではのウォーカブルなまちづくりを推進するため、「ウォーカブル推進都市」となり、令和4年6月に「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定し、パブリック空間、地域の歴史・文化等の「ウォーカブルな要素」の活用により、質の高い「滞留空間」と「回遊空間」を創出し、多様な人たちの活動を生みだすことを示しています。
- このような背景を踏まえ、地域に関わる一人ひとりが主体となり、都心千代田の緑や水辺、歴史的遺構、まちの文脈や味わいなどの価値、高度な都市基盤等を活かして、地域の価値を向上させる活動を起こし、まちを「使いこなす」ことにチャレンジできるようにするため、公共空間等やエリアマネジメント活動の手法・制度等についてまとめた「千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドライン」を策定します。



### ■ 区内のエリアマネジメント組織

地域	名称
飯田橋・富士見地域	アイガーデンエアタウンマネジメント協議会
神田公園地域	(一社) 神田駅周辺エリアマネジメント協会
万世橋地域	(一社) 淡路エリアマネジメント
万世橋地域・和泉橋地域	秋葉原タウンマネジメント株式会社
大手町・丸の内・有楽町・永田町地域	(一社) 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
	(NPO) 大丸有エリアマネジメント協会
	(一社) 大丸有環境共生型まちづくり推進協会
	(一社) 有楽町駅周辺まちづくり協議会
	(一社) 日比谷エリアマネジメント

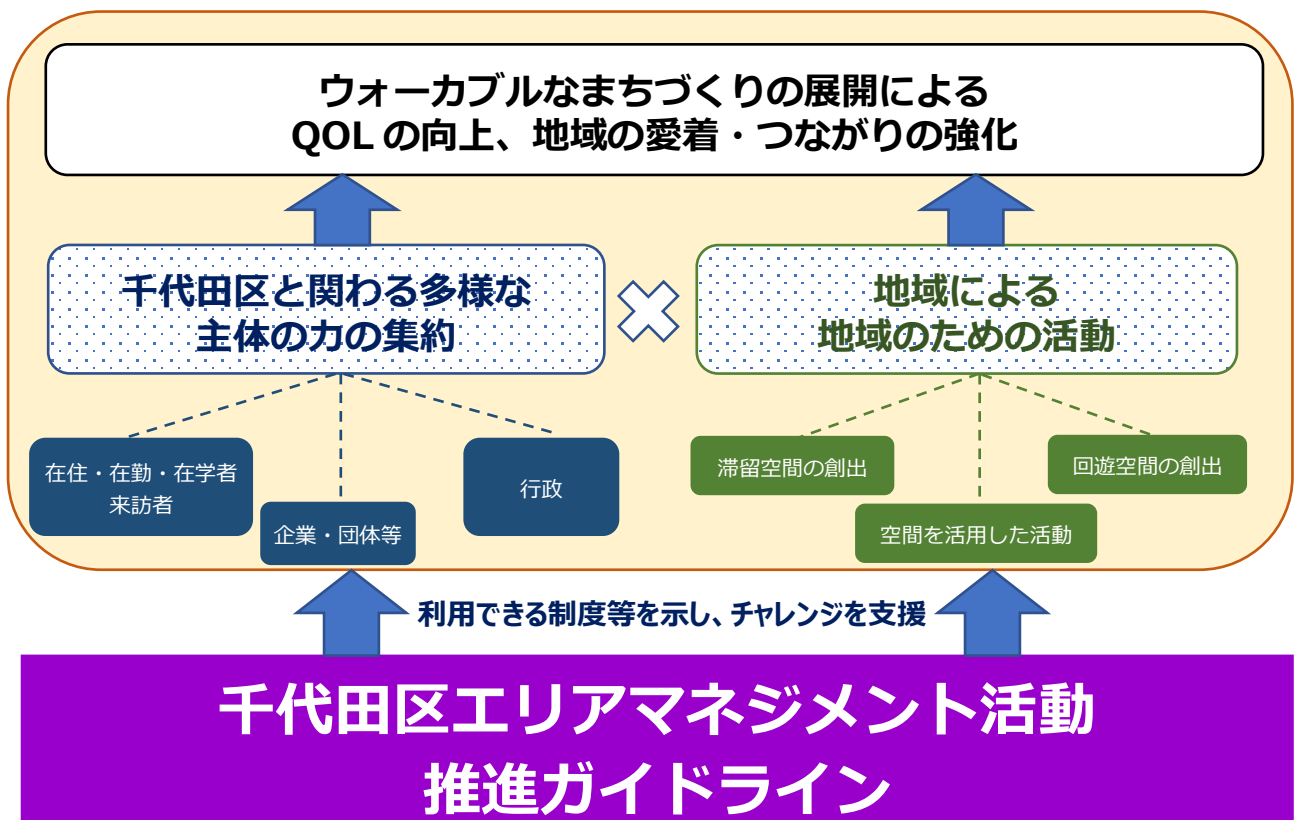
### ■ 区内のまちづくり協議会等

地域	名称
麹町・番町地域	日本テレビ通り沿道まちづくり協議会
飯田橋・富士見地域	飯田橋・富士見地域まちづくり協議会
神保町地域・神田公園地域	神田警察通り沿道整備推進協議会
神保町地域・万世橋地域	神田駿河台地域まちづくり協議会
神田公園地域	神田駅周辺環境整備懇話会
大手町・丸の内・有楽町・永田町地域	大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会

### 3 目的

様々な主体の力を集約して、地域自らがその地域の価値を向上させる活動にチャレンジできるようにすることで、ウォーカブルなまちづくりを推進する

- 千代田区ウォーカブルまちづくりデザインにおいて、千代田区におけるウォーカブルなまちづくりは、地域の課題を解決し、「私たち」のQOL（Quality Of Life）の向上を図るとともに、地域の愛着・つながりを強化し、「つながる都心」を実現することを目的として定めています。
- この千代田区ならではのウォーカブルなまちづくりとして、経済活性化や子育て環境の充実、地域の歴史・文化の継承といった地域それぞれのQOLを向上する活動を展開していくためには、地域の力を合わせて様々な制度等の活用が必要となります。
- そのため、本ガイドラインにおいては、それぞれの地域がその地域にあった形で活動にチャレンジできるように、区のエリアマネジメント活動に対する考え方を示すとともに、**地域に住み、働き、学び、訪れる一人ひとりが実施主体となり、企業・団体・行政等と連携しながら、まちを使いこなす**ための各種制度等や事例等を示します。これにより、質の高い「滞留空間」「回遊空間」の創出に向けた、公共空間等を活用した活動や、地域の様々な主体の力を集約した活動を促進していきます。
- また、千代田区は、地域や境界の個性が多様であるとともに、そこで活動する主体も多様であるといった特徴があることから、地域をよくしたいという小さな声からでも力を合わせて取り組むことができるエリアマネジメント活動に関する手法等のもとより、開発事業が契機となるような規模の大きなエリアマネジメント活動に関する手法についても示します。



## 4 千代田区におけるエリアマネジメント活動

### (1) エリアマネジメント活動とは

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、  
住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み

出典：国交省「エリアマネジメントのすすめ」

- ここで示す「良好な環境や地域の価値の維持・向上」には、快適で魅力に富む環境の創出や美しい街並みの形成、資産価値の保全・増進等に加えて、人をひきつけるブランド力の形成、安全・安心な地域づくり、良好なコミュニティの形成、地域の伝統・文化の継承等、ソフトな領域のものも含まれます。
- 多彩なエリアマネジメント活動が展開されることにより、例えば、住宅地においては、快適で魅力的な環境の創出、美しい街並みの形成、安全・安心な地域づくりなどが期待されます。また、業務・商業地では、地域美化やイベントの開催、広報等による地域プロモーションの展開といった取り組みにより、地域の魅力が高まるとともに経済的効果等も期待できます。



出典：国交省「エリアマネジメントのすすめ」

## (2) 千代田区におけるエリアマネジメント活動

### 1 地域の都心生活の質（QOL）向上につながる活動

- 地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上のみならず、地域に住み、働き、学び、訪れる多様な人々で共有する都心生活の質(QOL)を向上させる活動と、活動を行う仲間づくり、活動を継続していくための取組み全般をエリアマネジメント活動として考えます。
- このエリアマネジメント活動をとおして、多様な人たちの交流を生み、地域の愛着・つながりを強めていきます。
- 一方で、経済活性化による騒音問題や、賑わい創出による衛生環境の低下など、あるQOLを向上させる活動が、別のQOLを損なうことがないよう留意するとともに、地域の声に耳を傾け、エリアマネジメント活動が地域の求めるものであるかについても留意する必要があります。

#### COLUMN

### 「話し合い」の継続で活動を共有する

エリアマネジメント活動は地域の多様な人々で共有する都心生活の質（QOL）を向上させる活動ですが、どうすれば都心生活の質を共有できるでしょうか。

また、これを共有できたとしても、手段としてのエリアマネジメント活動をどのようなものにするかについても多様な考え方があると考えられます。

そのときに重要なのは、**話し合いを重ねる**ことではないでしょうか。

例えば、活動に反対だったとしても、全部に反対なのか、手段としての活動の内容に反対なのか、向上を目指す都心生活の質に反対なのか、多様な反対があると考えられます。またその逆に、賛成の中にも多様な賛成があると考えられます。

これら話し合いの積み重ねの中で整理し、共有できる部分を見つけていくことが重要です。そして、活動内容を完全に共有できなくとも、**「許容」「理解」してもらい、活動の実施までつなげ、活動を行った後も話し合いを続けていく**ことで「共有」につながるのではないのでしょうか。

### 「活動を楽しむ」ことが地域のために

本ガイドライン策定の検討に当たっては、様々な形でエリアマネジメント活動に関わる方が委員となり、議論をしました。その際に、エリアマネジメント活動を実施・継続していくための大切な要素として挙げたことに、エリアマネジメント活動を実施する人が**「活動を楽しむ」**ことがあります。

エリアマネジメント活動は、実施場所の確保や資金の確保、地域関係者・行政等との調整など、活動の実施に向けてやらなければいけないことが多くあり、簡単にできるとは言い難いです。

しかし、そのような過程も含めて活動を楽しむことが、まわりの人にも伝染し、連鎖していくと考えられます。そして、個人の活動が大きくなっていくことで、地域が楽しくなることにつながるのではないのでしょうか。

まずは、まちで何をしたら楽しいかを考えてみませんか。



▲「楽しさ」が伝染したことの完成形が「祭」かもかもしれません  
(写真：神田祭)



## 2

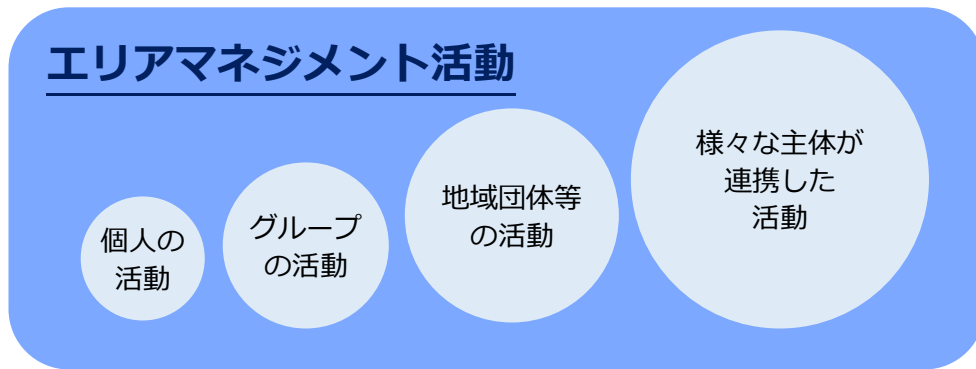
## 地域に住み、働き、学び、訪れる一人ひとりが実施主体

- 地域が求める QOL の向上につながるエリアマネジメント活動の実施主体は、まちづくり協議会、町会、商店街のような一定の規模がある企業・地域団体等に限らず、地域に関係する個人やグループ、サークルといった小規模なものも実施主体として考えます。
- 一方で、実施主体の規模とできることの規模や地域への効果等は比例してきます。そのため、同じ考えを持った人たちが集まり、活動の規模を大きくしたり、様々な主体が連携して活動をしたりすることで、エリアマネジメント活動の地域への効果が高まります。
- また、様々な主体の連携がエリアマネジメント団体の設立につながり、エリアマネジメント団体が地域の将来像、地域の求める QOL について定め、個人・グループといった様々な主体の活動の受け皿となるとともに、団体自身も活動を行うことで、それぞれのエリアマネジメント活動が一時的なものではなく、日常的に行われるものとなることが期待されます。

## ▼エリアマネジメント活動の実施主体の定義

実施主体	定義
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 団体や組織としてではなく、地域をよくしたいという個人の考えに基づき活動します。活動内容が、地域の求める QOL の向上につながる必要があります。</li> <li>● 様々な制度利用に際しては、活動内容が実施者個人の QOL の向上ではなく、地域の QOL の向上を目的としている（公的価値がある）ことを明確にすることが困難なため、地域団体等やエリアマネジメント団体との連携が望まれます。</li> </ul> 例：自宅の外側にプランターを置くなどの緑化活動や、自宅周辺の掃除などの環境美化活動 等
グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域をよくしたいという考え方について、同じ方向性を持った人たちが集まって活動します。活動が、地域の求める QOL の向上につながる必要があります。</li> <li>● 様々な制度利用に際しては、活動内容がグループの QOL の向上ではなく、地域の QOL の向上を目的としている（公的価値がある）ことを明確にすることが困難なため、地域団体等やエリアマネジメント団体との連携が望まれます。</li> </ul> 例：地域の掃除活動、地域の緑（公園、路上プランター等）の維持管理活動 等
地域団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 町会、商店街、まちづくり会社、NPO など、地域での活動実績等に基づき地域の信頼を得ている団体が、地域の QOL の向上のために活動します。</li> <li>● 様々な制度利用に際しては、地域の QOL の向上を目的としている（公的価値がある）ことに一定の信頼があります。個人やグループの声・活動内容を受け止め、一層活動を展開していくことが望まれます。</li> </ul> 例：地域イベントの実施、地域ルールなどの検討 等
エリアマネジメント団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の代表性を有する団体として、地域の QOL の向上のために活動します。都市再生推進法人の指定や規模等に応じて、団体としての地域の代表性に差異があります。</li> <li>● 様々な制度利用に際しては、地域の QOL の向上を目的としている（公的価値がある）ことに信頼があります。自身が積極的に活動するとともに、地域の多様な活動主体を受け止め、一層活動を展開していくことが望まれます。</li> </ul>

▼エリアマネジメント活動の規模と地域への効果等が比例することのイメージ

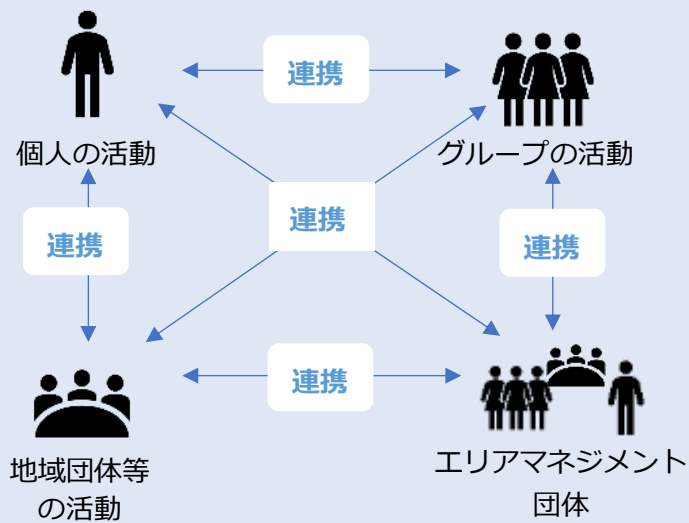


▼様々な主体が行うエリアマネジメント活動の連携のイメージ

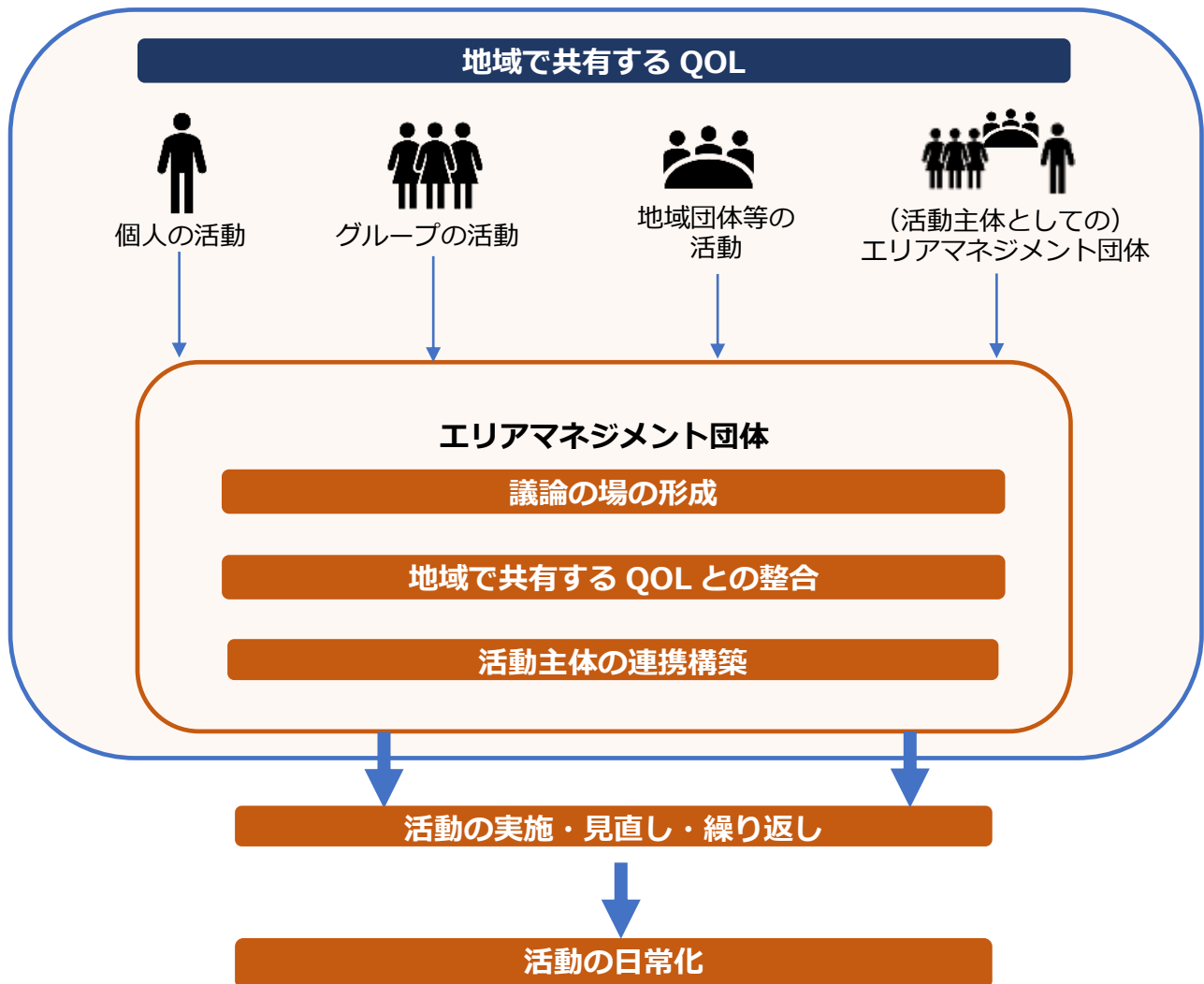
地域に住み、働き、学び、訪れる人たちで共有する QOL



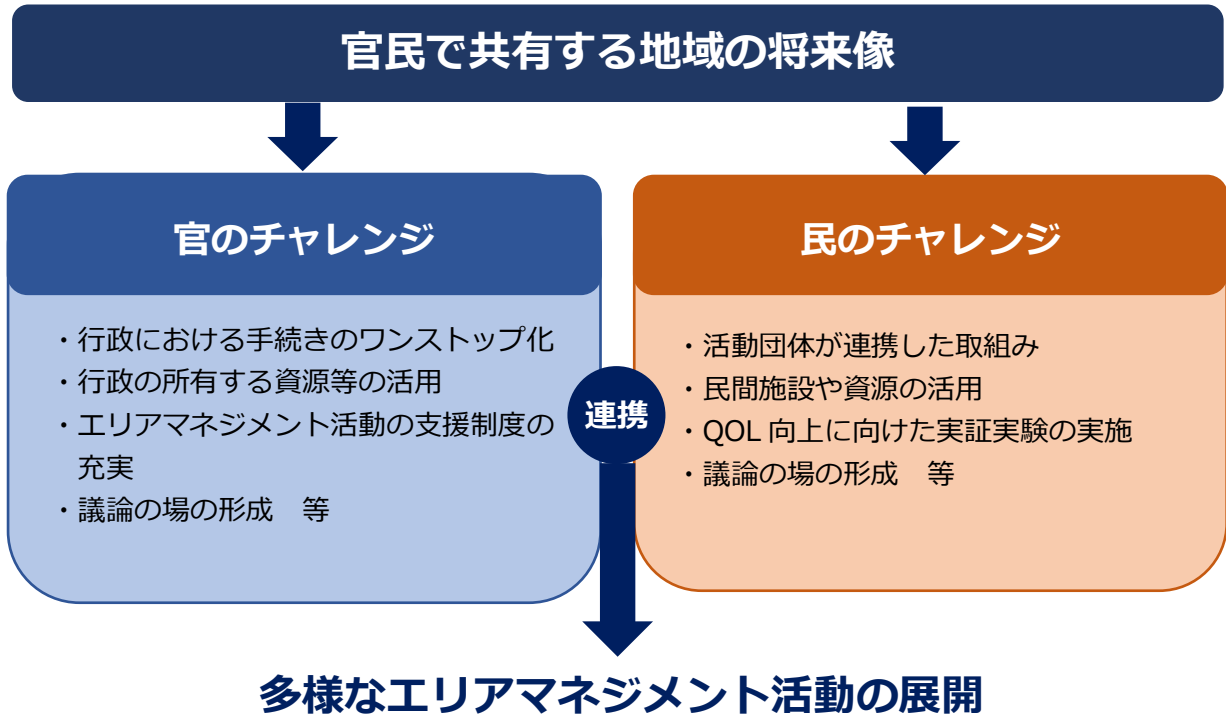
地域の QOL の向上につながる活動を、  
様々な主体で連携して行うことで、最大限の x 効果を発揮



▼地域の活動をエリアマネジメント団体が受け止め、日常化に至るイメージ



- 地域の求める QOL の向上につながるエリアマネジメント活動に向けては、官民で地域の将来像の共有し、連携しながら前例にとらわれないチャレンジを積み重ねていくことで実現していきます。



## COLUMN

## 世界に誇れる大丸有地区に向けた官民連携

大手町・丸の内・有楽町地区（以下「大丸有地区」）では、公共と民間の協力・協調によって都心にふさわしいまちづくりを進めることを目的に「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会（以下「懇談会」）を設けています。

懇談会では、大丸有地区の「将来像」「ルール」「整備手法」を議論し、大丸有地区が今後も東京の活力を牽引し、日本経済の国際競争力の一層の向上を図っていくための指針として、「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン」を策定しています。

この官民で共有するガイドラインに基づき、大丸有地区のエリアマネジメント団体である NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）が、官と連携しながら地域の活性化や環境改善、コミュニティ形成のエリアマネジメント活動として、様々な活動を行うことで、世界に誇る大丸有地区の魅力へとつながっています。

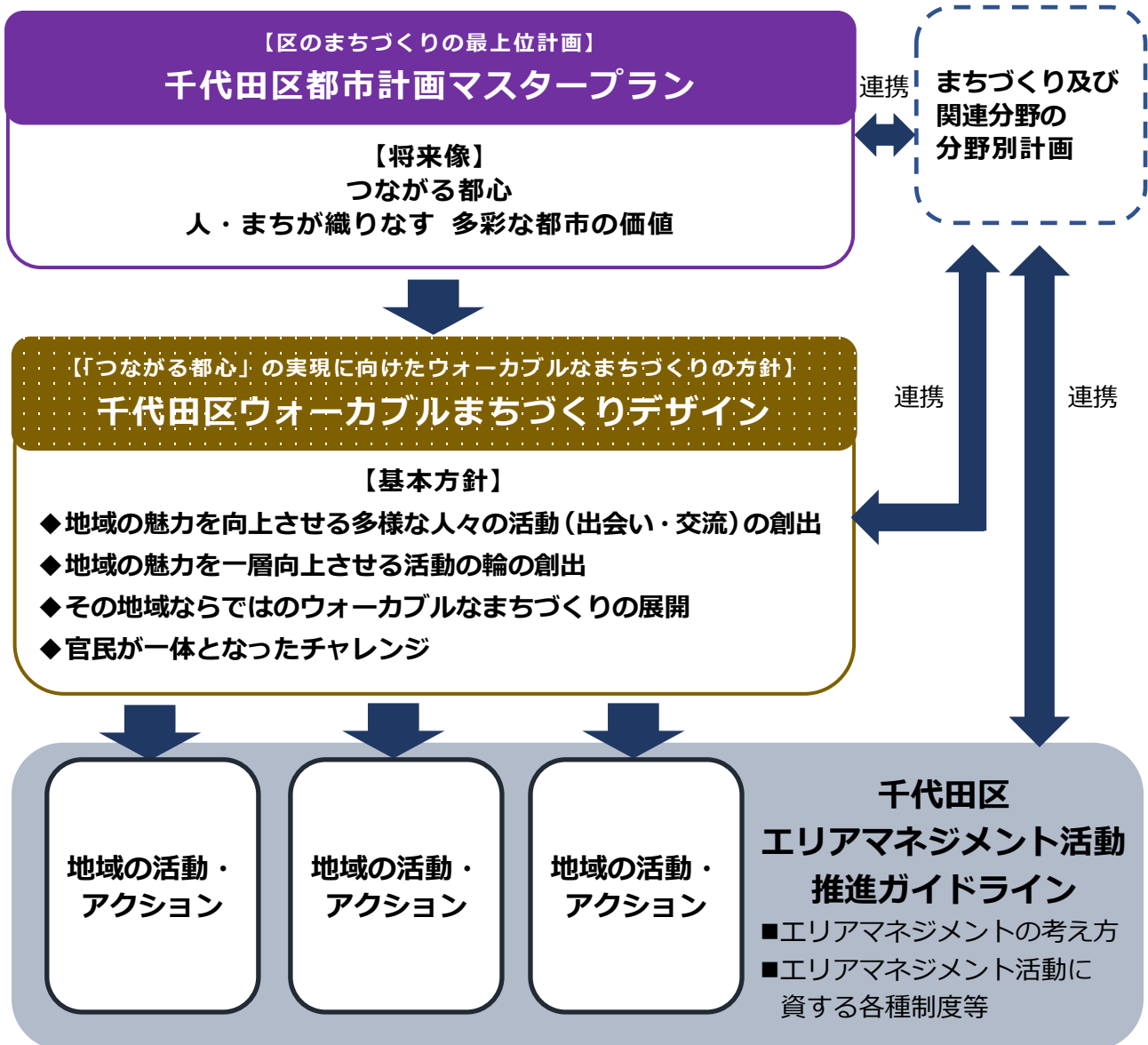
【大丸有地区におけるエリアマネジメント活動の例】

- ・ 丸の内仲通りアーバンテラス
- ・ 丸の内ストリートパーク
- ・ 「しゃれ街条例」に基づく公開空地の活用
- ・ エリアマネジメント広告
- ・ 大手町・丸の内・有楽町 夏祭り（打ち水）
- ・ エコキッズ探検隊



▲2019年に始まった丸の内ストリートパークは、新たな道路空間の活用を試行し、進化中

## 5 位置づけ



# 第 2 章

## エリアマネジメント活動の事例

- 千代田区内や国内外のエリアマネジメント活動の事例を整理し、それぞれの活動目的、実施主体、活動内容、効果や活用した制度等を紹介します。
- 活動の事例では、個人による活動から団体による活動まで主体ごとに、様々な目的をもったエリアマネジメント活動を紹介しています。あなたが地域でやりたいことを実現するための参考にご覧ください。

### ▼千代田区内の事例紹介の一覧表

番号	実施主体	名称	参照ページ
1	グループ、地域団体等	公園・道路等の自主的な管理・清掃	12
2	地域団体等	商店街や同業種団体の主催イベント	12
3	エリアマネジメント団体	緑あふれる芸術の街づくり（東京国際映画祭）	13

### ▼千代田区以外の事例紹介の一覧表


番号	類型	名称	場所	参照ページ
4	個人、グループ	公共空間等での音楽演奏・パフォーマンス	東京都	14
5	個人、グループ	レモネードスタンド	東京都	14
6	個人、グループ、地域団体等	キッチンカー	大阪府豊中市	15
7	個人、グループ、地域団体等	隅田川マルシェ	東京都墨田区	16
8	地域団体等	自治会による地区計画	神奈川県横浜市	17
9	地域団体等	商店街による地区計画	香川県高松市	18
10	グループ、エリアマネジメント団体	公開空地におけるヨガイベント	東京都港区	19
11	地域団体等	まちなかの映画会	東京都新宿区	19
12	地域団体等	九品仏川緑道の美化活動	東京都世田谷区	20
13	地域団体等	県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業	岡山県岡山市	21
14	グループ	ほこみち制度を利用した魅力と賑わいづくり	兵庫県姫路市	21
15	エリアマネジメント団体	大阪 BID	大阪府大阪市	22

### ▼海外の事例紹介の一覧表

16	個人、グループ	個人などによる大道芸	オーストラリア	23
17	地域団体等	地域住民による地区計画	イギリス	24
18	エリアマネジメント団体	タイムズ・スクエア BID	アメリカ	25


## ▼千代田区内の事例紹介

### 1 公園・道路等の自主的な管理・清掃【グループ、地域団体等】

<b>実施主体</b>	・町会・商店会・学校・ボランティア団体や企業等	 <p>▲公園の清掃</p>
<b>事業時期</b>	2002年～	
<b>目的</b>	・まちに潤いを与えるとともに、地域の環境美化やコミュニティの活性化を図る	
<b>活動内容</b>	・清掃・ごみ拾い、除草、花壇の世話（水やりなど）、植栽・植樹 ・活動団体数：23団体（平成26年度9月末現在）	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が一体となって活動し、生活の魅力を高める仲間づくりや活動が活発化した。</li> <li>・地域住民が普段利用している道路や公園を緑化・管理していくことにより、地域への愛着や誇りが醸成されるとともに、地域コミュニティの強化につながった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	・アダプト制度	

千代田区 HP、総務省 HP「アダプト制度の実施状況（都道府県）」、公益社団法人食品容器環境美化協会 HP を基に作成

### 2 商店街や同業種団体の主催イベント【地域団体等】

<b>実施主体</b>	・神田カレー街活性化委員会	 <p>▲神田カレーグランプリ</p>
<b>事業時期</b>	2011年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の振興</li> <li>・区民生活の安定確保</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神田カレーグランプリ、神田技芸祭 11 等の開催</li> <li>・神田技芸祭 11 では三味線、バンド演奏などのパフォーマンスが行われた。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カレーの街」として認知されるようになり、毎年約 4 万もの来場者だけでなく、日常的にも神田のカレーを求めて訪れるようになり、地域の魅力向上につながった。</li> <li>・多様な人々が集まり、交流し、地域の活性化につながった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	・千代田区立広場の設置及び管理に関する要綱	

千代田区 HP、千代田区商店街連合会 HP、千代田区商連会報（H23.12.5）を基に作成

### 3 緑あふれる芸術の街づくり（東京国際映画祭）【エリアマネジメント団体】


<b>実施主体</b>	・一般社団法人日比谷エリアマネジメント	写真掲載予定 ▲・・・
<b>事業時期</b>	2018年～	
<b>目的</b>	・有楽町日比谷地区の安全で快適な環境の形成、地域経済の活性化 ・日比谷公園や劇場等の周辺施設と連携し、地域一体となった魅力あふれる都市空間の実現とまちづくりの持続、発展	
<b>活動内容</b>	・有楽町日比谷地区の賑わい形成、活性化に関する企画立案・実行 ・有楽町日比谷地区の情報発信・プロモーション ・有楽町日比谷地区の公共空間の利活用、運営管理 ・有楽町日比谷地区の清掃・美化等の環境整備 ・有楽町日比谷地区の防災・防犯対策 ・その他、上記事業に付随または関連する事業 ・代表的なものとして、東京国際映画祭のメイン会場が日比谷・銀座・有楽町エリアに移転したのち、コーポレートパートナーとして参加（2021年～）	
<b>活用制度</b>	・・・調査中・・・	

一般社団法人日比谷エリアマネジメント HP、東京国際映画祭 HP を基に作成



▼千代田区以外の事例紹介


4 公共空間等での音楽演奏・パフォーマンス（東京都）【個人、グループ】

<b>実施主体</b>	・個人からグループまで	
<b>事業時期</b>	2005年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストたちが互いに切磋琢磨して、創造し表現する場を提供</li> <li>・都民や東京都を訪れる方が身近な所で文化に親しむ機会を提供</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都が審査し、合格したアーティストはライセンスを交付され、東京都が指定する都立公園や民間施設等の決められた場所で、予約した日時に、音楽演奏やパフォーマンスを実施</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が気軽に文化や芸術と出会う機会の創出につながった。</li> <li>・芸術の愛好者など多様な人々が集まり、交流し、地域の活性化につながった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘブンアーティスト事業</li> </ul>	

▲公園内に行われたパフォーマンス

東京都生活文化スポーツ局 HP、  
東京都の文化政策「ヘブンアーティスト事業」と現代都市空間（2006 都市文化研究）を基に作成

5 レモネードスタンド（東京都）【個人、グループ】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人からグループまで</li> <li>(サポート：レモネードスタンド普及協会)</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2013年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児がんや小児医療支援</li> <li>・ボランティア活動や社会貢献に対する意識を高める</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児がんや小児医療支援のため、実施者はレモネードスタンド普及協会によるレモン果汁の無償提供を受け、民間敷地やイベント会場等で、レモネードの販売による募金活動を実施</li> <li>・2013年には年間10件だったが、2018年には200件にまで広がった。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小児がんに対する理解が深まるとともに、活動を通じた交流が地域活動の活発化につながった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品営業許可</li> <li>・道路占用・使用許可</li> <li>・公園占用・使用許可</li> </ul>	

▲レモネードスタンド


レモネードスタンド普及協会 HP を基に作成

## 6 キッチンカー（大阪府 豊中市）【個人、グループ、地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッチンカー事業者（出店者）</li> <li>・株式会社 Mellow（キッチンカーと出店場所のマッチングを行うプラットフォーム事業者）</li> <li>・豊中市</li> </ul>	 <p>▲公園内キッチンカーによる飲食販売</p>
<b>事業時期</b>	2020年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・with コロナ、after コロナにおけるまちの賑わい創出</li> <li>・地域の住民や公園の利用者の利便性の向上</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォーム事業者と市が事前に販売場所や時間帯について協議</li> <li>・キッチンカー事業者がプラットフォーム事業者を通して予約し、飲食販売を実施</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート回答者の約96%がキッチンカーの取組みが必要と回答し、子育て世帯と高齢者に便利であるという意見もあった。</li> <li>・キッチンカーの利用回数について、複数回利用した方が約3割となった。</li> <li>・キッチンカー利用者と売上率とも増加傾向となった。</li> <li>・住宅団地内にある公園が販売場所になり、周辺地域住民に新しいコミュニティを提供し、利便性の向上、また、来園への動機付けや新たな公園の活用へのきっかけにつながった。</li> <li>・豊中市が実施する社会実験以外にも、キッチンカーの提供が市内で見られるようになり、キッチンカーという豊中市のひとつの地域資源を創出することができた。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園の占用許可特例制度</li> <li>・食品営業許可</li> </ul>	
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験実施の結果やヒアリングにより、近隣に住宅がない公園等においては、事業として成り立たないことが分かった。一方で近隣に住宅が多かったり、人通りが多かったりする場所では事業性があることが分かった。</li> </ul>	

豊中市のHP、「公園・住宅団地へのキッチンカー提供の社会実験報告書」（2020年 豊中市）、  
「公園・住宅団地へのキッチンカー提供の社会実験（第二弾）報告書」（2022年2月 豊中市）を基に作成


## 7 隅田川マルシェ（東京都 墨田区）【個人、グループ、地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隅田川マルシェ実行委員会</li> <li>・東京都建設局河川部</li> <li>・墨田区 &amp; 台東区</li> <li>・個人（出店者）</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2019年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隅田川を中心とした水辺の賑わいを創出し、新しい文化圏を構築</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の実施委員会が確保した隅田川沿いの会場で、個人事業者が出店し、農産物、食品、物品を販売</li> <li>・観光船の運航</li> <li>・来場者（特に子ども）が参加できるワークショップの開催</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺とまちの連続性・回遊性が向上し、水辺の賑わいの創出につながった。</li> <li>・約4,500人もの観光客が訪れたことで、河川空間のみだけでなく、地域に賑わいを創出した。（人数は2019年の実績）</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷地占用許可制度</li> <li>・食品営業許可（飲食関係の出店者のみ）</li> </ul>	

▲水辺空間を活用した隅田川マルシェ

隅田川マルシェ実行委員会のHPを基に作成

## 8 自治会による地区計画（神奈川県 横浜市 美しが丘中部自治会）【地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉美しが丘中部地区計画づくりアクセス委員会（美しが丘中部自治会所属）</li> </ul>	 <p>▲地域内にあるユリノキ通りの景観</p>
<b>事業時期</b>	2003年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みと居住環境の維持</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しが丘中部自治会が地区計画づくりアクセス委員会を設置</li> <li>・自治会が地域の意向調査を行い、市に地区計画の策定を要望</li> <li>・当該地区の地区計画により、建築物の用途制限、建築物の敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限などを規制し、門灯や常夜灯等の設置や生活マナー（騒音・臭気の発生防止）など地区計画で規制できない内容について、委員会が「街並みガイドライン」を策定</li> <li>・住民によるワーキンググループで地域の環境保全活動（道路保全、自治会館周辺の環境整備、歩行者専用道路や遊歩道の修景計画研究等）を実施</li> <li>・委員会が来街者向けに、建築活動等に関する地区ルールがあることを認知してもらうための標識を設置</li> <li>・ガイドラインの運用、行政との調整、将来的な地区計画等の見直しなどを含め、委員会主催の月1回の定例会で情報交換</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区計画の目標である「近隣相互の生活環境への配慮が感じられる緑豊かなゆとり感のある美しい低層住宅地」が維持されている。</li> <li>・地域内の建築物の形状、色彩及び緑化行為をある程度コントロールできるようになった</li> <li>・住民が地域内のまちづくり活動により、自身の住環境や街並み等に関心を持って呼びかけ合うようになった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区計画制度</li> </ul>	
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該エリアに建築する際は地区計画の届け出と同時に、アクセス委員会にも工事計画適合確認書を提出してもらい、委員会でチェックしている。更に近隣住民向けに説明会を実施してもらい、アクセス委員も立ち会う。活動はすべて行政との協力体制で行っている。</li> </ul>	


地域運営組織の諸活動（2016年 総務省）、  
 青葉美しが丘中部地区街づくりハンドブック（2022年 美しが丘中部自治会）を基に作成

## 9 商店街による地区計画（香川県 高松市）【地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松丸亀町まちづくり株式会社 (高松丸亀町商店街振興組合が95%出資)</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	1987年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が集い交流・連携するステージとしての商店街づくり</li> <li>居住者を取り戻すことによる人口流出や中心市街地の空洞化の抑止</li> </ul>	▲商店街内の道路空間に植栽・ベンチを設置
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松丸亀町商店街振興組合が95%、高松市が5%を出資した民間主導型のまちづくり会社「高松丸亀町まちづくり株式会社」を設立。</li> <li>民間都市再生事業計画を市に提案した。</li> <li>地区計画でビルを1.5mセットバックし、道路管理者・交通管理者との協議を経て、緊急車両の通行を妨げない範囲で、道路空間に植栽・ベンチを設置。</li> <li>商店街の中に、自転車レーンを整備。</li> <li>バリアフリー化により、障害者や高齢者が歩きやすい街路を整備。</li> <li>ドーム広場の拡張により、象徴的な空間の形成及びマルシェなどのイベントを開催。</li> <li>住宅整備と高齢者用医療施設を設置。</li> <li>定期借地と駐車場の収入を住宅整備や地域医療再生に活用。</li> <li>商店街に住んでいる人が、これからも住み続けることが出来るように、「定期借地権方式」ではなく、「土地信託方式」に切り替え、土地を活用。</li> <li>商店街振興計画を作成し、土地の利用と所有を分離して、商業活動を行う街と地主・商業者が別の場所で住むのではなく、昔の商店街の商店のように商業部分が下層に、住居部分が上層とした。</li> <li>他の地域からの商業者も参入しやすくするように工夫し、また撤退、退出する時にはその土地取得のために「証券化スキーム」を導入。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内の人口が約13%増加し、世帯数は約23%増加した。</li> <li>地域内の空き店舗率が約1%減少した。</li> <li>平日の歩道者通行量が約5%増加し、休日の通行量は約22%増加した。</li> <li>商店街振興組合が主催するイベントのほか、行政・民間企業・NPO法人・学生等多様な主催者により、年間約200件ものイベントが開催されている。</li> <li>ベンチで休憩したり交流したりと、市民の憩いの場となっている。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間都市再生事業計画認定制度</li> <li>地区計画制度</li> <li>まちづくり会社制度</li> </ul>	

都市再生整備計画を活用した官民連携方策検討調査報告書（2012年 国土交通省）、  
「人が集う広場」の整備と魅力的な地域イベントにより来街者増効果（2018年 中小企業庁）、  
都市再生の取組事例 高松駅周辺・丸亀町地域（2020年 内閣府地方創生推進事務局）を基に作成


## 10 公開空地におけるヨガイベント（東京都港区） 【グループ、エリアマネジメント団体】

<b>実施主体</b>	・森ビル株式会社	
<b>事業時期</b>	2014年～	
<b>目的</b>	・地域活性化による賑わいの形成	
<b>活動内容</b>	・東京のしゃれた街並みづくり推進条例に登録された有効空地を活用し、ヨガイベント（有料の公益活動）を開催	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年以来、春と秋に合計30日程度、各回定員100人のヨガイベントを開催し、街の活動として定着した。</li> <li>・まちに賑わいを呼び込むきっかけとなった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	・東京のしゃれた街並みづくり推進条例（まちづくり団体の登録制度）	

▲ヨガイベントの開催の様子

民間空地等の多様な利活用に関する事例集（2020年 国土交通省）を基に作成

## 11 まちなかの映画会（東京都 新宿区）【地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会</li> <li>・野村不動産株式会社</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2018年～	
<b>目的</b>	・賑わいの創出	
<b>活動内容</b>	・東京のしゃれた街並みづくり推進条例に登録された有効空地を活用し、無料で映画上映イベントを開催	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者や外国人観光客等を誘引するとともに、ナイトタイムの滞留人口が増加した。</li> <li>・各ビル主催イベントと連携し、エリア全体で賑わいを創出するとともに、エリアの認知度が向上した。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生推進法人</li> <li>・東京のしゃれた街並みづくり推進条例（まちづくり団体の登録制度）</li> </ul>	

▲映画会の開催の様子

一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会のHP、  
民間空地等の多様な利活用に関する事例集（2020年 国土交通省）を基に作成

## 12 九品仏川緑道の美化活動（東京都世田谷区・目黒区）【地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ジェイ・スピリット</li> <li>自由が丘商店街振興組合</li> <li>世田谷区 ・ 目黒区</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	1996 年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放置自転車問題の解消</li> <li>来街者の憩いの場の創出による地域の活性化</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前商業地区にふさわしい商業環境の形成や歩行者空間の創出を図るため、セットバックや屋外広告物を規制する地区計画を策定</li> <li>2002 年商店街振興組合や住区住民会議・町会が主体となった「株式会社ジェイ・スピリット」というまちづくり会社を設立</li> <li>魅力的な街並みを形成するため、株式会社ジェイ・スピリットが街並みルール「自由が丘街並み形成指針」を策定</li> <li>ベンチ、プランター等ストリートファニチャーの設置、無電柱化による歩行者空間の創出</li> <li>道路空間を活用したイベントの開催</li> <li>広告設置や教育事業支援、カード事業などの地域活動を通じて資金を獲得し、これをまちづくり活動に還元</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチの増設と別の場所に駐輪場を整備することで、路上駐輪が減少した。</li> <li>国家戦略道路占用事業の道路占用特例で、これまで敷地内でしかできなかったサービスの提供・販売を公道上で行うことができるようになった。</li> <li>「世界のスイーツ」、「自由が丘スイーツフェスタ」の開催により、毎年約 50 万人も地域に訪れ、賑わいを創出した。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり会社制度</li> <li>都市再生推進法人</li> <li>道路占用許可の特例制度（国家戦略道路占用事業）</li> <li>地区計画制度</li> </ul>	

▲道路にベンチ等のストリートファニチャーの設置


目黒区の HP、株式会社ジェイ・スピリットの HP、歩行者中心の道路空間の活用マニュアル（2021 年 東京都都市整備局）、地域づくりを支える道路空間再編の手引き（2018 年 国土技術政策総合研究所）を基に作成

### 13 県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業（岡山県 岡山市）【地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市</li> <li>・県庁通りミーティング協議会</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2015年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車中心から人優先の安全で快適な、歩いて楽しい道路空間の創出</li> <li>・官民連携による県庁通りの魅力とポテンシャルの再発見</li> </ul>	▲県庁通りマーケットの開催の様子
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道事業者等から構成する組織「県庁通りミーティング協議会」を設立</li> <li>・道路総幅員は変更せず車道を2車線から1車線にし、歩道を片側3.5mから最大約6.0mまで拡幅し、自転車走行空間と十分な歩行空間を確保</li> <li>・沿道店舗等が軒先の歩道1mを活用できる仕組みを構築</li> <li>・自転車レーン、木陰のできる植栽、ベンチ、連続照明を設置</li> <li>・歩道上で、マルシェなどのイベントを実施</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者通行量が増加し、特に女性が約20%増加した。</li> <li>・通行しやすくなったと思う自転車利用者が約30%増加した。</li> <li>・効果については、令和5年度以降検証予定</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画</li> <li>・道路占用許可の特例制度</li> </ul>	

岡山市のHP、県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業（2021年 岡山市）を基に作成

### 14 ほこみち制度を利用した魅力と賑わいづくり【グループ】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市</li> <li>・大手前通り街づくり協議会（占用事業者）</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2019年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手前通りと沿道建物が連携し、通りを日常的に賑わい・憩う場所にする</li> <li>・将来的には、大手前通り周辺も含めたエリア価値の向上と好循環を創出する</li> </ul>	▲・・・
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【市】歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）制度を活用することで、民間の創意工夫を最大限発揮させつつ、大手前通りというエリアの魅力と賑わい創出の好循環を生み出すための活動をする占用事業者の公募</li> <li>・【占用事業者】スペースの管理やイベントの運営。</li> </ul>	
<b>活用制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者利便増進道路制度</li> <li>・道路占用特例制度</li> <li>・公募占用制度</li> </ul>	

姫路市HPを基に作成



## 15 大阪 BID（ビジネス活性化地区）（大阪府大阪市）【エリアマネジメント団体】

実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人グランフロント大阪 TMO（都市再生推進法人）</li> </ul>	
事業時期	2013年～	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携による高質な公共空間の創出及び維持、安全安心な地域づくり、国際集客力の向上等による都市再生の推進、新しい大阪のかづくりと発信</li> </ul>	<p>▲沿道の歩道空間にオープンカフェを設置</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンカフェの設置や各種イベントの開催等、公共・民間空間を活用した集客活動を展開</li> <li>街灯、ベンチ、植栽等の設置</li> <li>安全安心な地域づくりや放置自転車の対策として、警備員を配置</li> <li>広告設置等による収益をエリアマネジメント活動に還元</li> <li>歩道空間の管理に係る活動については、大阪市が地権者から分担金を徴収し、エリアマネジメント団体（グランフロント大阪 TMO）に交付</li> </ul>	
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域のお盆踊り」、「運動会」など定期的な参加型イベントの開催とともに、常設のオープンカフェの開設により、グランフロント大阪の年間来訪者数が目標の2,500万人を大幅に上回る4,600万人に達し、地域の賑わい創出につながった。</li> <li>エリアマネジメント団体が安定的に活動資金を得られるようになった。</li> <li>官民連携による一体的な公共空間の管理により、エリア全体の地価が高まった。</li> </ul>	
活用した制度	<p>【都市再生特別措置法に基づく制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画の提案</li> <li>道路占用許可特例制度の活用</li> <li>都市利便増進協定の締結（都市利便増進協定に基づきオープンカフェ等 設置）</li> </ul> <p>【大阪市の条例に基づく制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市エリアマネジメント活動促進制度の活用（歩道の維持管理、放置自転車対策のための警備員巡回等）</li> </ul>	

大阪市の HP、地方創生まちづくり エリアマネジメント（2017年 内閣府地方創生推進事務局）、  
官民連携まちづくりポータルサイト（国交省）、  
エリアマネジメント効果と財源（2020年 小林重敬+森記念財団）を基に作成

## ▼海外の事例紹介

### 16 個人などによる大道芸（オーストラリア メルボルン）【個人、グループ】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や団体（国籍・年齢不問）</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2011 年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化</li> <li>・観光振興</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メルボルン市が審査し、合格した申請者はライセンス（Busking permit）を交付され、市が指定する場所で音楽演奏やパフォーマンスを実施</li> <li>・ライセンス（12 種類ある）によって、販売活動や火気を使用する活動も可能</li> <li>・14 歳から 17 歳の演者に夜 18 時以降の活動は監督者が必要</li> <li>・14 歳以下の演者は、時間帯にかかわらず、常に監督者が必要</li> <li>・一つの場所での活動時間は 30 分以内</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色のあるストリートパフォーマンスで、観光客や市民を当該エリアにひきつけた。</li> <li>・パフォーマーが原状回復義務として清掃を行うことで、地域のアメニティ維持につながった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大道芸許可制度（Busking permits）</li> </ul>	

▲歩道内に行われた音楽演奏

メルボルン市の HP を基に作成


## 17 地域住民による地区計画 (イギリス シェフィールド)【地域団体等】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケルハムアイランドとネブセンド地域団体</li> <li>・シェフィールド市</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	2000年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化</li> <li>・住環境の維持と向上</li> </ul>	
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2000年、地域住民が地域団体を設立</li> <li>・2019年、地域の意向調査を行い、市に地区計画の策定を要望</li> <li>・2020年、年4回地区にある橋（Ball Street bridge）を一時的に歩行者専用地域に制限し、コミュニティマーケットを開催（住民や地域内の事業者が出店）</li> <li>・地域にあるドン川による浸水の恐れがあるため、地域住民で取り組んだボランティアチームを立ち上げ、定期的に河川清掃活動を実施</li> <li>・ドン川の水辺環境を活用するため、市の再開発計画に親水水辺まちづくりを提案</li> <li>・地域のアーティストと連携し、パブリックアート（壁画など）の創作による文化活動を実施</li> <li>・IT業者と連携し、地域内における公共施設の不備（道路の穴、街道灯の交換）などを市に報告するシステムを構築</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティマーケットなどのイベントで、地区外の人を誘致し、地域活性化と賑わいづくりに効果があった。</li> <li>・住環境の満足度と地域の帰属意識の向上に効果があった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Neighborhood Plan（地区計画）</li> </ul>	

▲コミュニティマーケットの開催の様子

Kelham Island and Neepsend Community Alliance の HP を基に作成

## 18 タイムズ・スクエア BID (アメリカ・ニューヨーク市)【エリアマネジメント団体】

<b>実施主体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムズ・スクエア アライアンス (BID 組織)</li> <li>・ニューヨーク市</li> </ul>	
<b>事業時期</b>	1992 年～	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路環境の向上と犯罪の減少によるタイムズ・スクエアに対する印象改善</li> <li>・賑わいと活気の再生</li> </ul>	▲広場化したタイムズ・スクエア
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服を着用したガードマンとニューヨーク市警察が連携し、公共の場の安全性を強化</li> <li>・道路清掃やゴミの撤去を実施</li> <li>・観光客や市民を当該エリアにひきつけるために、大晦日のカウントダウン、アートイベント等特別なイベントや特色のあるプログラムを実施</li> <li>・観光案内所を設け、観光客に無料でインフォメーションなどを提供</li> <li>・外灯や公共設備などの様々なプロジェクトを実施し、エリアの全体的な印象を向上</li> <li>・広報やマーケティング活動を実施し、エリアの認知度を向上</li> <li>・人々が立ち止まったり、座ったりできる場所を創出するため、当該 BID 組織がタイムズ・スクエアの広場化についてニューヨーク市に提案し、市との連携により広場化を実現</li> <li>・路上飲食販売店、観光案内スタンド、植栽ポットなどを設置し、空間利用者の利便性を向上</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪率が 1993 年より約 50%減少するとともに、歩行者数が約 11%増加し、人々の滞在時間が約 84%増加した。</li> <li>・地域の代表的なイベントである「大晦日のカウントダウン」などを開催することにより、年間約 2,600 万人の観光客が訪れる観光スポットとなった。</li> </ul>	
<b>活用した制度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BID 制度</li> </ul>	

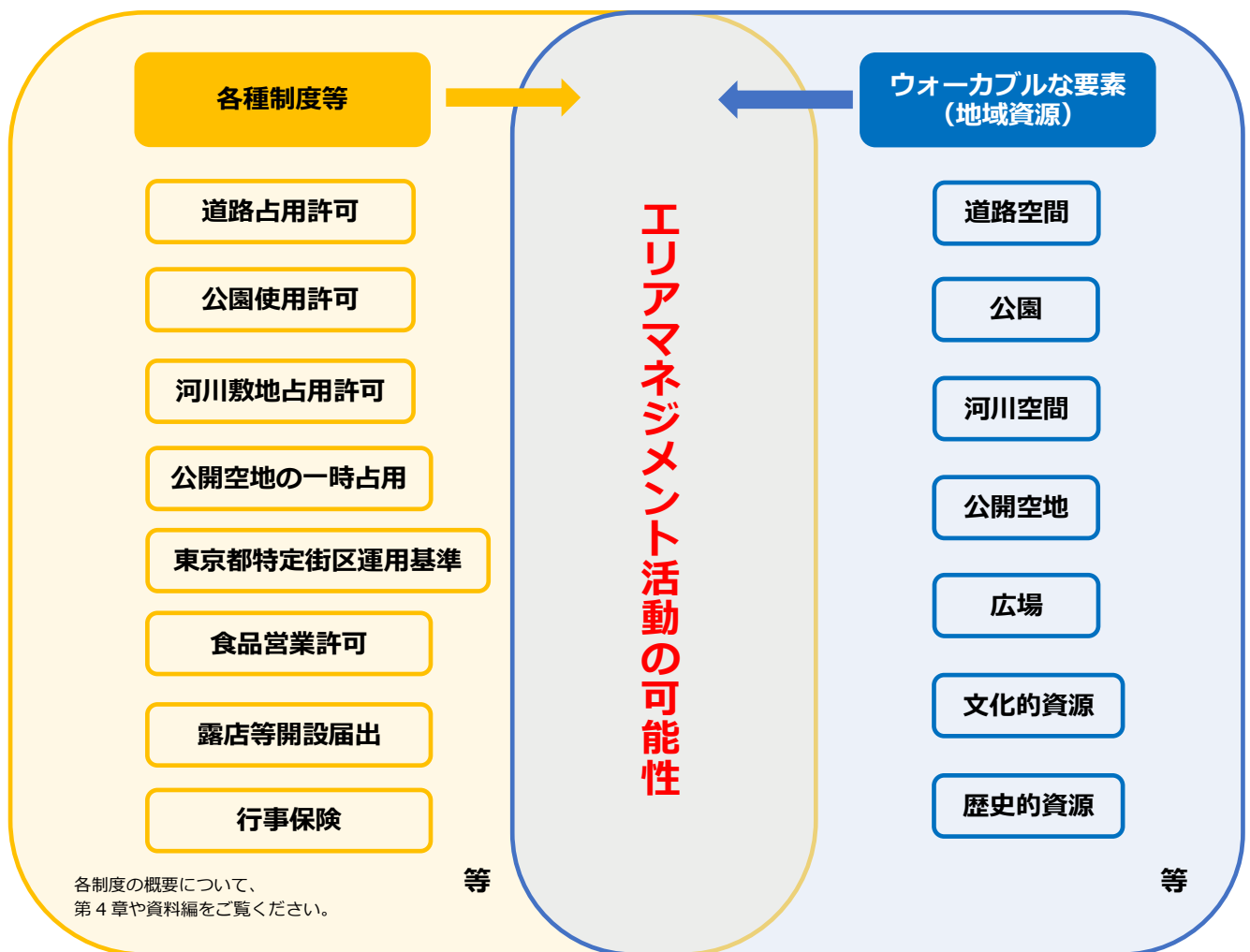
エリアマネジメント効果と財源 (2020 年 小林重敬+森記念財団)、  
海外の BID の事例～ニューヨーク市の事例中心に (2013 年 大阪市) を基に作成

# 第 3 章

## エリアマネジメント活動の可能性

- 様々な制度等を利用することにより、どのようなエリアマネジメント活動ができるでしょうか。実際に制度等を利用するにあたっては、地域での合意形成や地域特有の事情等を様々な考慮する必要がありますが、ここではそういったことや実現性は考慮せず、「こんなことができるかもしれない」という可能性について示します。あなたが地域のために「やりたいこと」を実現するためのヒントが見つかるかもしれません。

※ 2・5の可能性については、千代田区都市計画マスタープランの改定検討時に行った「ウィズコロナ・アフターコロナにおけるまちづくりを考えるアイデアソン」(令和2年実施)において、生徒・学生から出た意見を基に作成



# 1 公園を利用した映画会

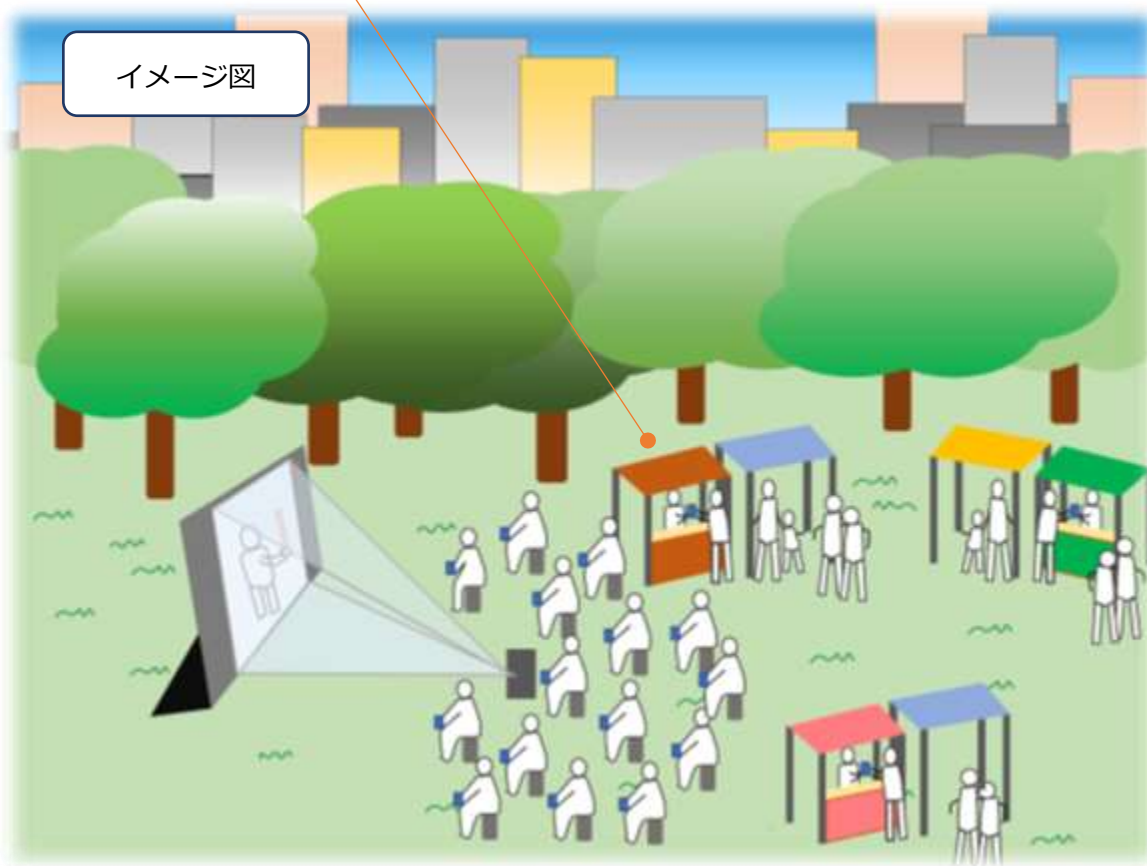
目的：公園で映画会を実施するイベントにより、地域の賑わいの創出を図る。

## 軽食を提供したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・食品営業許可
- ・露店等開設届出
- ・防火管理者選定
- ・行事保険、ボランティア保険 など

イメージ図



## 公園を利用したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・公園占用許可
- ・公園使用許可 など

## 2 道路を利用した運動会

目的：道路空間を利用した運動会の実施により、地域コミュニティの活性化を図る。



### 道路を利用したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・道路占用許可
- ・道路使用許可
- ・行事保険、ボランティア保険 など

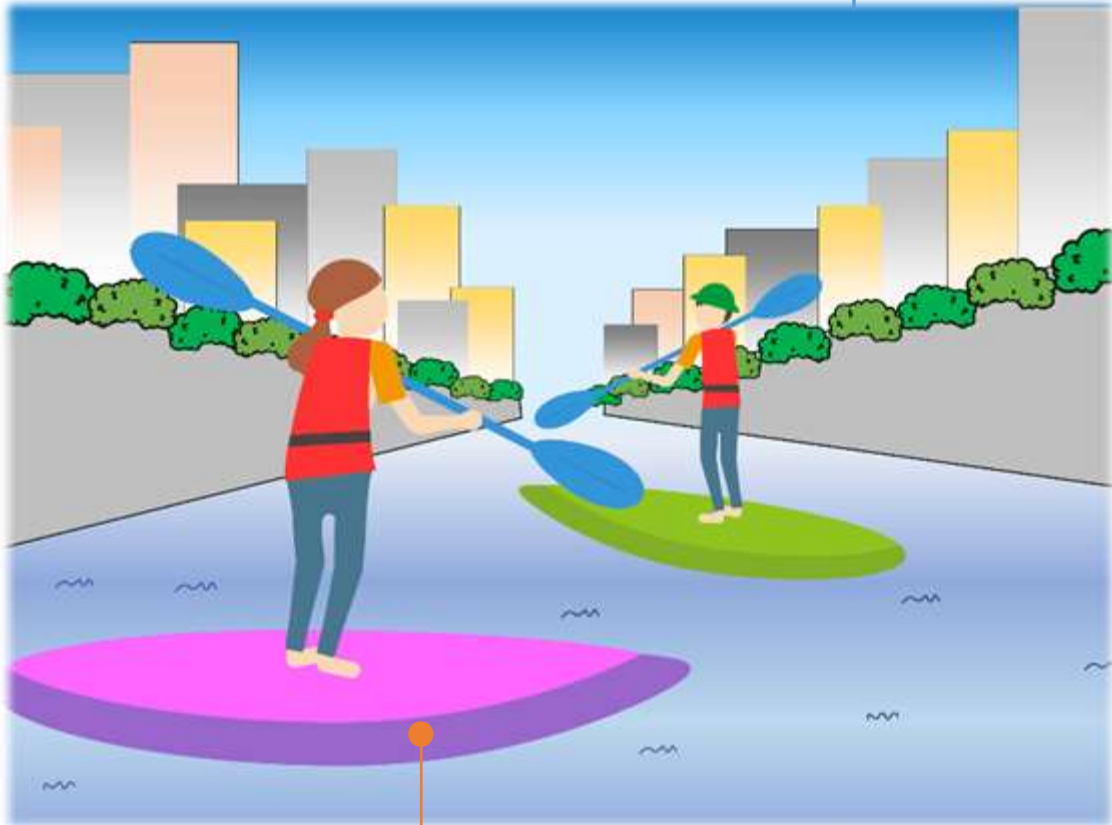
### 3 河川を利用したウォータースポーツイベント

目的：河川空間を利用したウォータースポーツイベントの実施により、地域の賑わいの創出を図る。

#### 河川を利用したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・河川占用許可
- ・行事保険、ボランティア保険 など



#### スポーツ道具を提供したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・露店等開設届出 など



## 4 公共空間等を利用した子どもの遊び場づくり

目的：公共空間等の利用により、地域の子どもの遊び場や、区民の憩いの場の創出を図る。

### 公共空間を利用したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・ 公開空地の一時占用に関する手続き
- ・ 区立広場の占用に関する手続き など



### 道路を利用したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・ 道路占用許可
- ・ 道路使用許可
- ・ 行事保険、ボランティア保険 など

## 5 広場を利用した屋外オフィスづくり

目的：広場などのパブリック空間を利用した屋外オフィスを設置することにより、広場利用者の利便性の向上を図る。



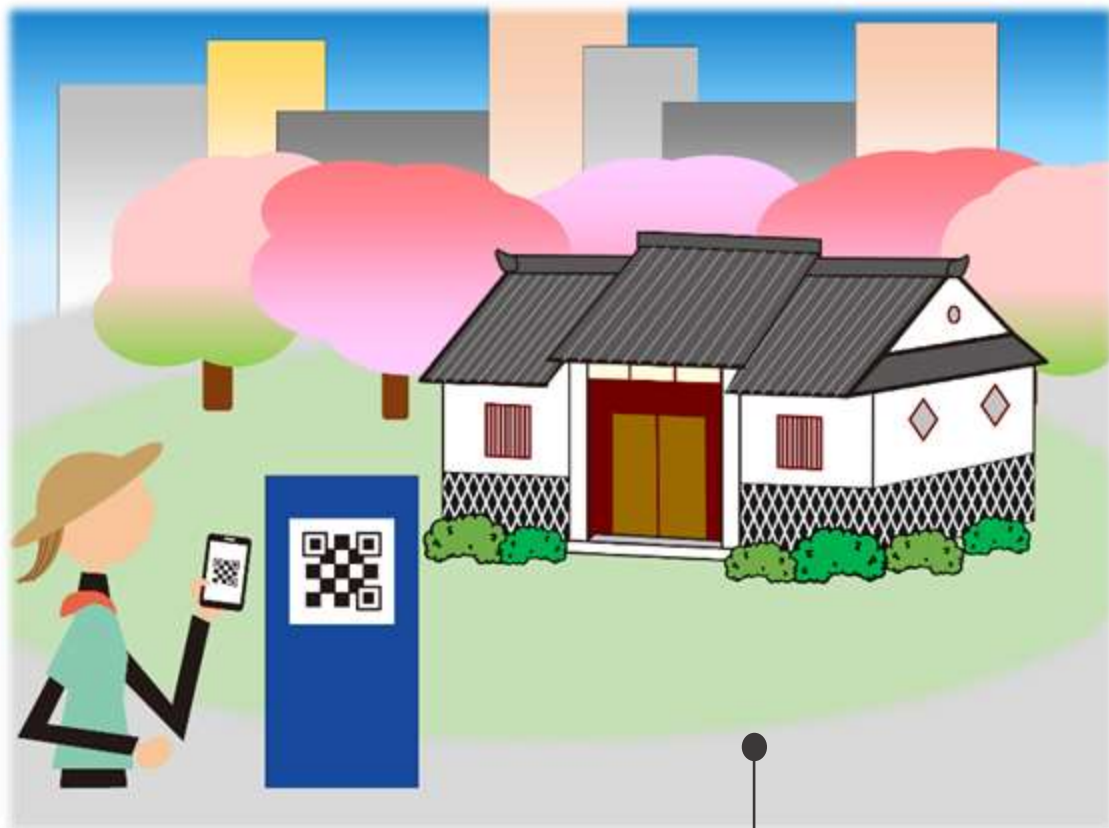
### 公共空間を利用したい

利用が想定される制度・手続き等

- ・公開空地の一時占有に関する手続き
- ・区立広場の使用に関する手続き など

## 6 歩きながら楽しめる歴史文化資源

目的：地域の歴史文化資源を身近に楽しめるようにすることで、地域の歴史文化資源の活用や周知を図る。



### 道路を利用したい

利用が想定される制度・手続き等  
・道路占用許可  
・道路使用許可 など



# 第4章

## エリアマネジメント活動で利用できる制度等

- 本章では、第1章で示した千代田区におけるエリアマネジメント活動において利用できる制度等について紹介します。
- ここで示す制度等は、制度利用にあたり、実施主体の組織や活動地域についての位置づけ等の指定がないものについて記載しています。一方、制度利用に当たって組織や活動地域等に一定の要件がある制度等については、資料編に掲載しています。

### ▼活動場所に関する制度等

類別	制度名	参照ページ
1 道路	(1) 道路占用許可	35
	(2) 道路使用許可	37
2 公園	(1) 公園占用許可	39
	(2) 公園使用許可	41
3 河川	河川敷地占用許可	43
4 公開空間	(1) 東京都特定街区運用基準（有効空地の活用）	45
	(2) 千代田区立広場の設置及び管理に関する要綱	47
5 公開空地	公開空地の一時占用（総合設計制度）	49

### ▼活動内容によって必要となる手続き等

類別	制度名	参照ページ
6 飲食	食品営業許可	51
7 防火	(1) 露店等開設届出	53
	(2) 防火管理者選任届	55
	(3) 消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書	57
	(4) 火災予防上必要な業務に関する計画届出	58
8 広告	屋外広告物許可申請	60
9 保険	各種保険等	62
10 文化	ヘブンアーティスト事業	64

### ▼継続的に活動をしていくための制度等

類別	制度名	参照ページ
11 商工	(1) クラウドファンディング	66
	(2) クラウドファンディング活用による資金調達支援制度	68

## 1 道路 (1) 道路占用許可

### 概要

道路は本来交通のために利用するものと定められていますが、道路に一定の工作物等を設け、道路の空間を継続して使用することを「道路の占用」といい、許可を受ける必要があります。

路上で行うイベントについても、道路を占有することになるため、許可が必要となります。

イベント等での道路占有においては、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有するQOLの向上につながる）必要があります。



- 占用期間：一般占用は5年以内
- 占用料：千代田区道路占用料等徴収条例で定められた額  
(都道などの場合、関係部署にお問合せください)

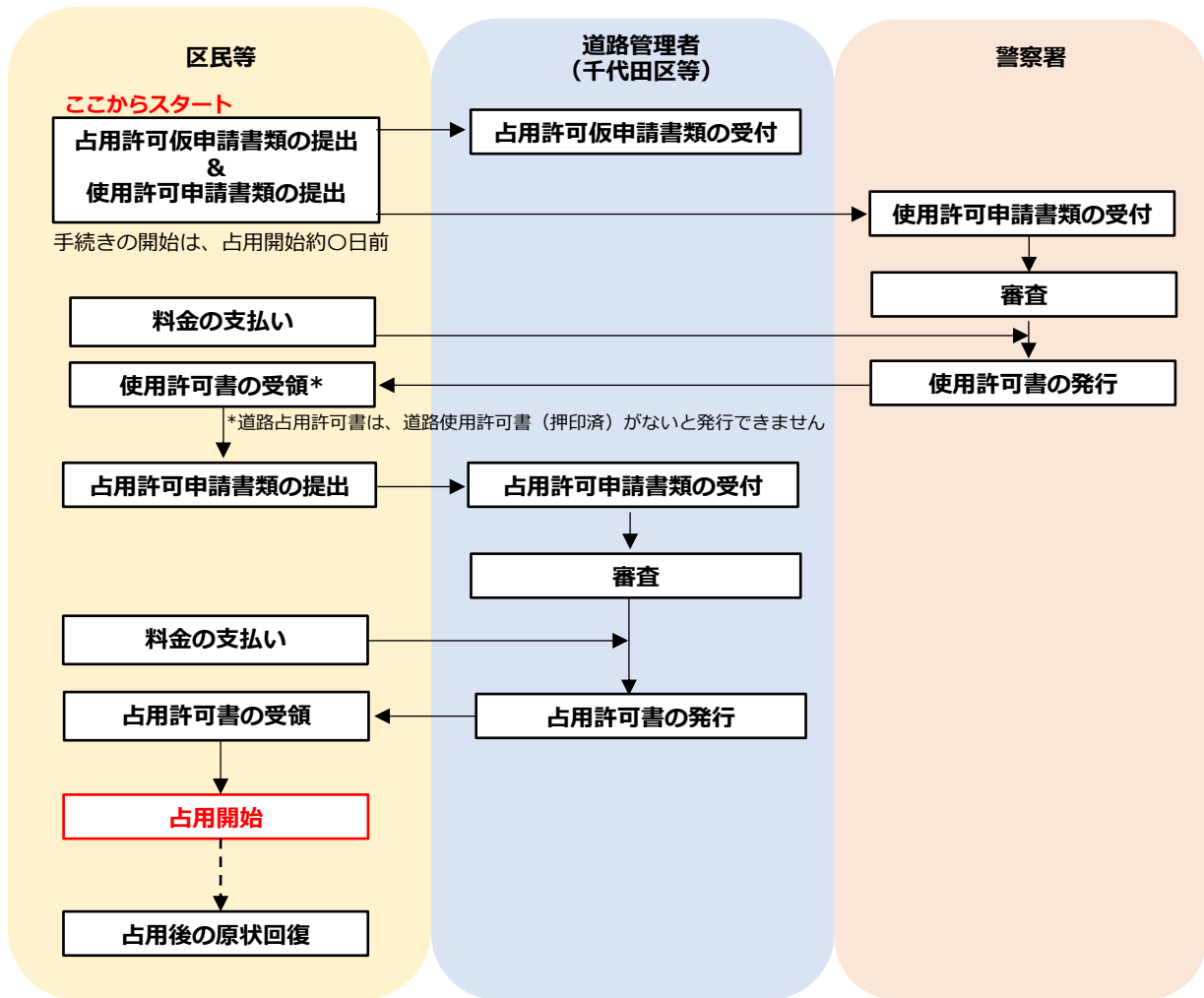
### 要件

占用目的	○地域の活性化や都市における賑わいの創出等を目的とするものであること
占用主体	○地方公共団体 ○地方公共団体を含む地域住民・団体等の関係者からなる協議会など ○地方公共団体が支援する路上イベントの実施主体（地方公共団体が支援する理由及び内容並びに当該路上イベントに係る占用の許可に関する意見を占用許可申請書に付しているもの）
占用場所	○道路の構造又は道路交通に著しい支障を及ぼさない場所であること ○歩道上に路上イベントに伴う占用物件を設置する場合には、原則として、十分な歩行空間（交通量が多い場所にあつては3.5m以上、その他の場所にあつては2.0m以上）を確保すること
占用物件の構造	○道路の構造に支障を及ぼさないものであり、かつ、周辺の景観、美観等を妨げるものでないこと

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- イベント等の実施に際しては、警察への道路使用許可申請も必要となります（P●●参照）
- イベント等の場合、企画の段階からご相談ください。

## 制度活用の手続き



※上記の手続きは区道に適用しますが、都道、国道などの場合、関係部署にお問合せください。

## 必要書類

- 道路占用許可申請書及び添付書類（イベントの目的等の概要、案内図、平面図、断面図、緊急連絡体制図、周知方法書）
- 道路使用許可申請書及び添付書類（道路占用許可書と同じもの）

## 問合せ

### 【区道】

千代田区 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 占用係 ☎ 03-5211-4235

### 【都道】

東京都建設局 第一建設事務所 管理課 占用担当 ☎ 03-3542-1474

### 【国道】

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 管理第一課 ☎ 03-3512-9096

## 1 道路 (2) 道路使用許可

### 概要

道路は本来人や車が通行する目的で作られています。その目的以外で道路の空間を使用することを「道路の使用」といい、許可を受ける必要があります。

路上で行うイベントについても、道路占用許可とともに、道路使用許可が必要となります。

イベント等での道路使用においては、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有する QOL の向上につながる）必要があります。



- 使用期間：工作物の場合、10 年以内  
イベント等の場合、場所によって異なる（近くの警察署に確認してください）
- 使用料：警視庁関係手数料条例で定められた額

### 対象行為

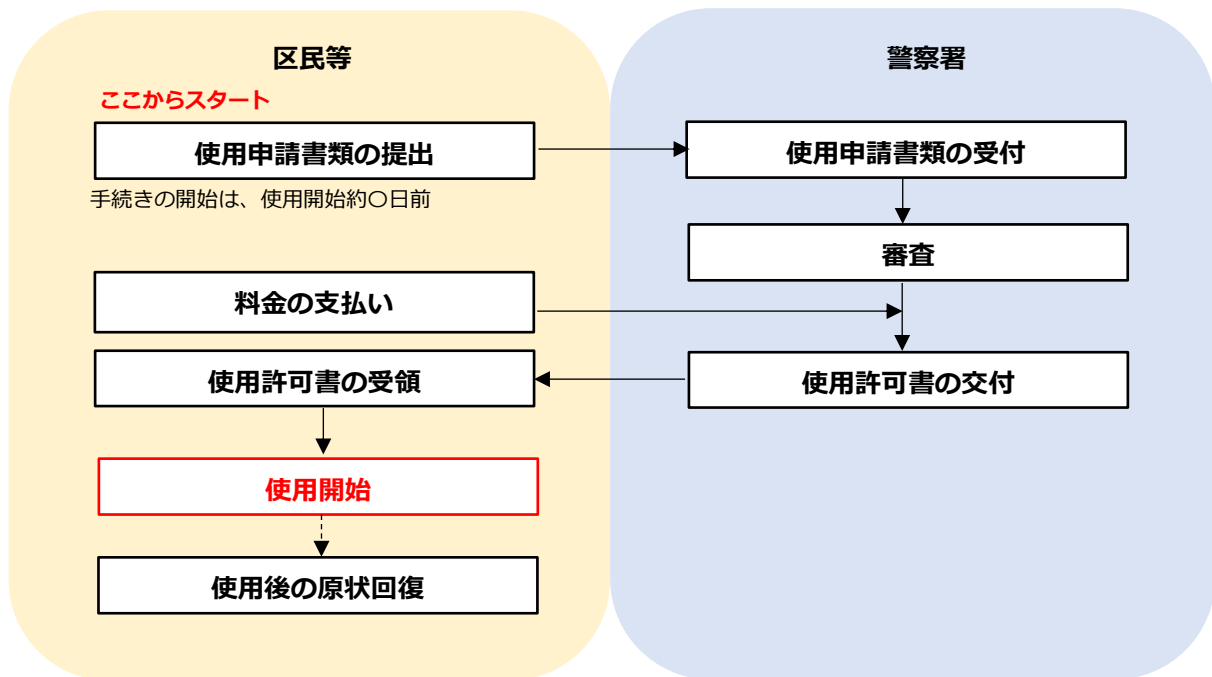
1号許可	道路において、工事または作業をしようとする行為
2号許可	道路に石碑、広告板、アーチ等の工作物を設けようとする行為
3号許可	場所を移動しないで、道路に露店、屋台等を出そうとする行為
4号許可	道路において祭礼行事、ロケーション等をしようとする行為

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- 道路使用に際して、道路上に工作物等を設置する場合は道路管理者への道路占用許可申請も必要となります（P●●参照）
- イベント等の場合、定期的実施しているかどうかを問わず、企画の段階等から余裕をもってご相談ください。



## 制度活用の手続き



※上記の手続きは区道に適用しますが、都道、国道などの場合、関係部署にお問合せください。

## 必要書類

- 道路使用許可申請書及び添付書類（案内図、道路使用の方法又は形態等を補足するために公安委員会が必要と認めて定めた書類等）

※道路占用許可申請がある場合、道路使用許可書に区の押印が必要となります（千代田区の場合）。

## 問合せ

各地域の警察署

【麹町警察署】 ☎ 03-3234-0110

【万世橋警察署】 ☎ 03-3257-0110

【神田警察署】 ☎ 03-3295-0110

【丸の内警察署】 ☎ 03-3213-0110

## 2 公園 (1) 公園占用許可

### 概要

公園に一定の工作物等を設け、公園の空間を継続して使用することを「公園の占用」といい、許可を受ける必要があります。

そのため、公園においてイベント等を開催する場合、公園を一時的に占有することになるため、許可が必要になります。

公園は本来誰もが自由に利用できる、散策できる市民の憩いの場ですが、イベント等での公園占用においては、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有する QOL の向上につながる）必要があります。



- 占用期間：10 年以内（工作物の場合）
- 占用料：千代田区都市公園条例で定められた額  
（都立公園の場合、関係部署にお問合せください）

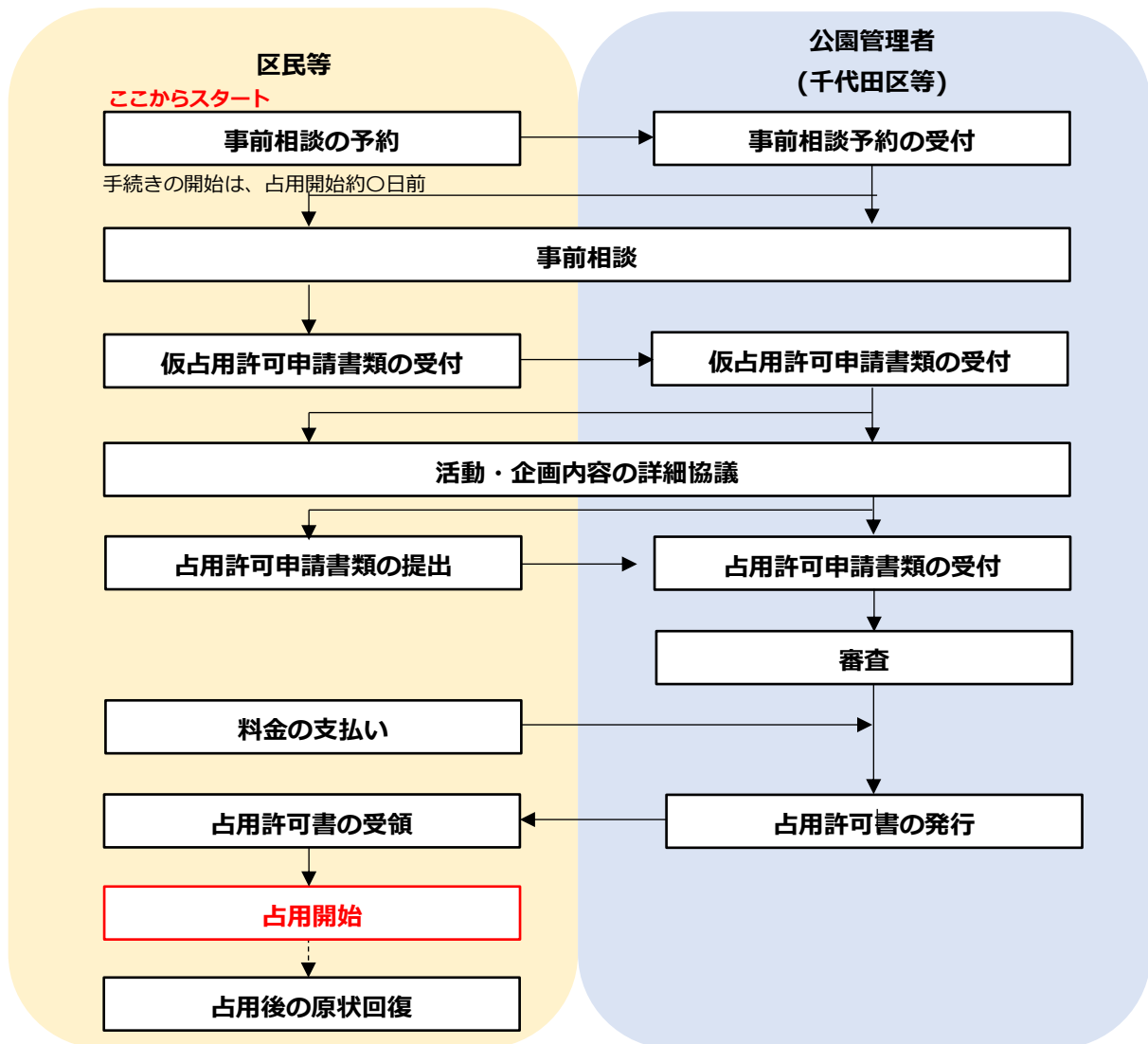
### 対象行為

- ① 園内に公園施設以外の物件等工作物を設置する場合
- ② イベントなどの催し物
- ③ 町会・自治会行事（盆踊り、お祭り等の催しを行う場合）
- ④ 保育園・幼稚園・児童館などの行事（運動会など）
- ⑤ 映画・ドラマ・雑誌などの撮影（一般の利用者を排除しての撮影は不可）
- ⑥ 団体に長時間利用する場合
- ⑦ 防災訓練、消防訓練等において、運動会またはその練習を行う場合
- ⑧ その他イベント等を行う場合

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- 公園を占用し、イベントを開催しようとする際は、必ず事前相談をしてください。公園で実施できないものもあります。
- （公園占用許可と公園使用許可の違いについて等）

## 制度活用の手続き



※上記の手続きは区立公園に適用しますが、都立公園の場合、関係部署にお問合せください。

## 必要書類

- 占用許可申請書及び添付書類（図面、企画書、台本のコピー等）

## 問合せ

### 【区立公園】

千代田区 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 占用係 ☎ 03-5211-4235

### 【都立公園】

東京都建設局 東部公園緑地事務所 管理課 管理担当 ☎ 03-3821-6145

## 2 公園 (2) 公園使用許可

### 概要

イベント等で公園の全部または一部区域を独占して使用するときは事前に許可を受ける必要があります。

区立公園は誰もが自由に利用できる場所のため、イベント等での公園使用においては、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有する QOL の向上につながる）必要があります。



- 使用時間：日の出～日の入（夜間禁止）
- 使用料：千代田区都市公園条例で定められた額

### 対象行為

- ① 写真、テレビ等の撮影
- ② 防災訓練
- ③ 健康診断（レントゲン撮影等）
- ④ その他公園を一時的に使用する行為

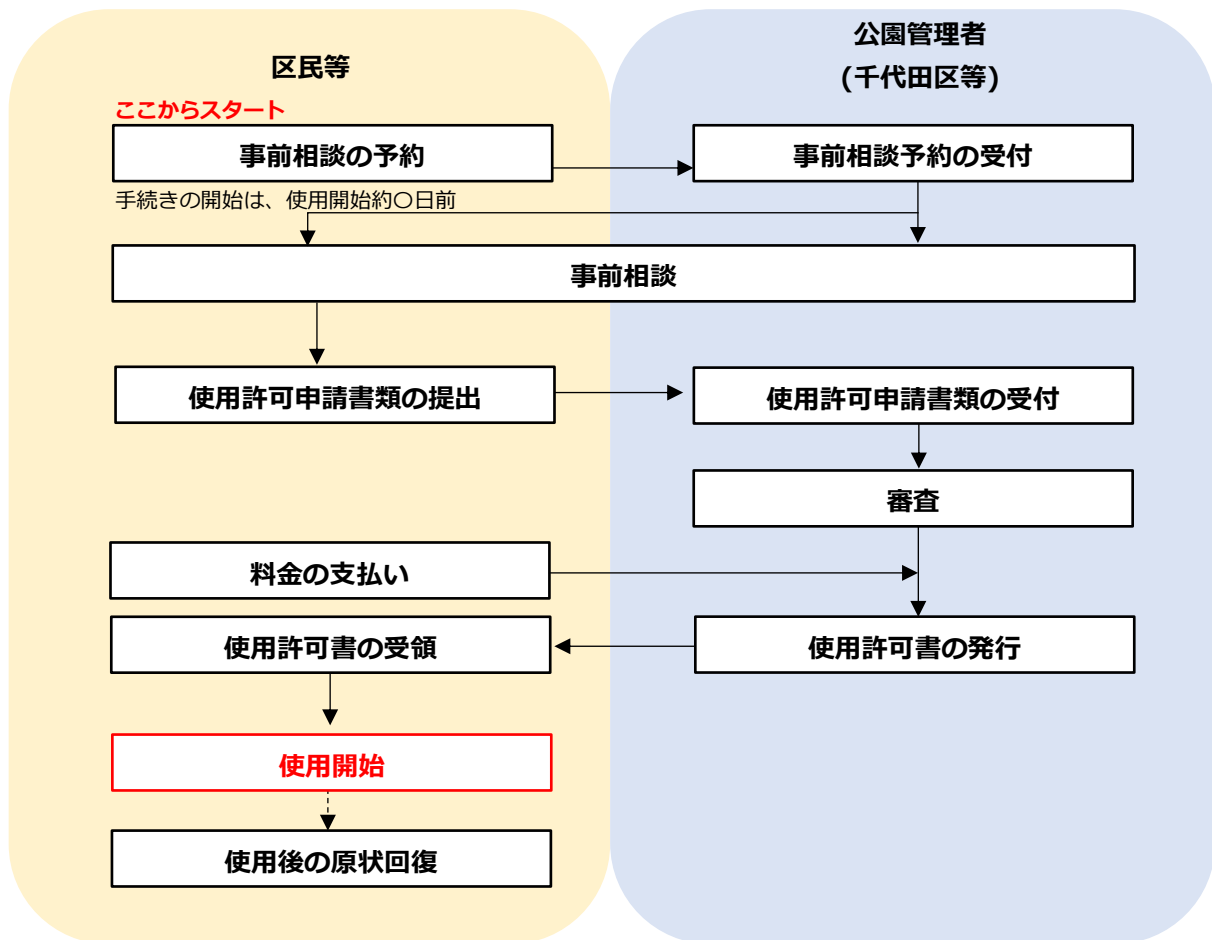
※下記の行為については、許可できません。

- ・営業活動（販売行為やそれらに付属する行為等）
- ・他の利用者の妨げになる行為（公園内からの排除、承諾のない状態での利用者の撮影等）
- ・凶器・危険物等の持ち込み、火の使用
- ・機材の搬出入、車の乗り入れ等
- ・デモ活動（保安上の問題や地域住民への影響があるため）

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- （公園占用許可と公園使用許可の違いについて等）
- ○○

## 制度活用の手続き



※上記の手続きは区立公園に適用しますが、都立公園の場合、関係部署にお問合せください。

## 必要書類

- 制限行為の許可申請書及び添付書類（図面、企画書、台本のコピー等）

## 問合せ

### 【区立公園】

千代田区 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 占用係 ☎ 03-5211-4235

### 【都立公園】

東京都建設局 東部公園緑地事務所 管理課 管理担当 ☎ 03-3821-6145

### 【日比谷公園】

日比谷公園サービスセンター ☎ 03-3501-6428

### 3 河川 河川敷地占用許可

#### 概要

河川敷地に一定の工作物等を設け、河川敷地の空間を継続して使用することを「河川敷地の占用」といい、許可を受ける必要があります。

そのため、河川敷地でイベントを開催する場合、河川敷地を占有することになるため、許可が必要となります。

河川敷地は本来公共性・公益性のある施設のために利用するものと定められているため、イベント等での河川敷地の占有においては、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有する QOL の向上につながる）必要があります。

- 占用期間：イベントの場合は、短期間（概ね 1 日以内）  
工作物等の場合は、10 年以内

#### 対象

河川敷地の占用許可を受けることができる施設は、河川敷地占用許可準則第七に掲載されているものとなります。

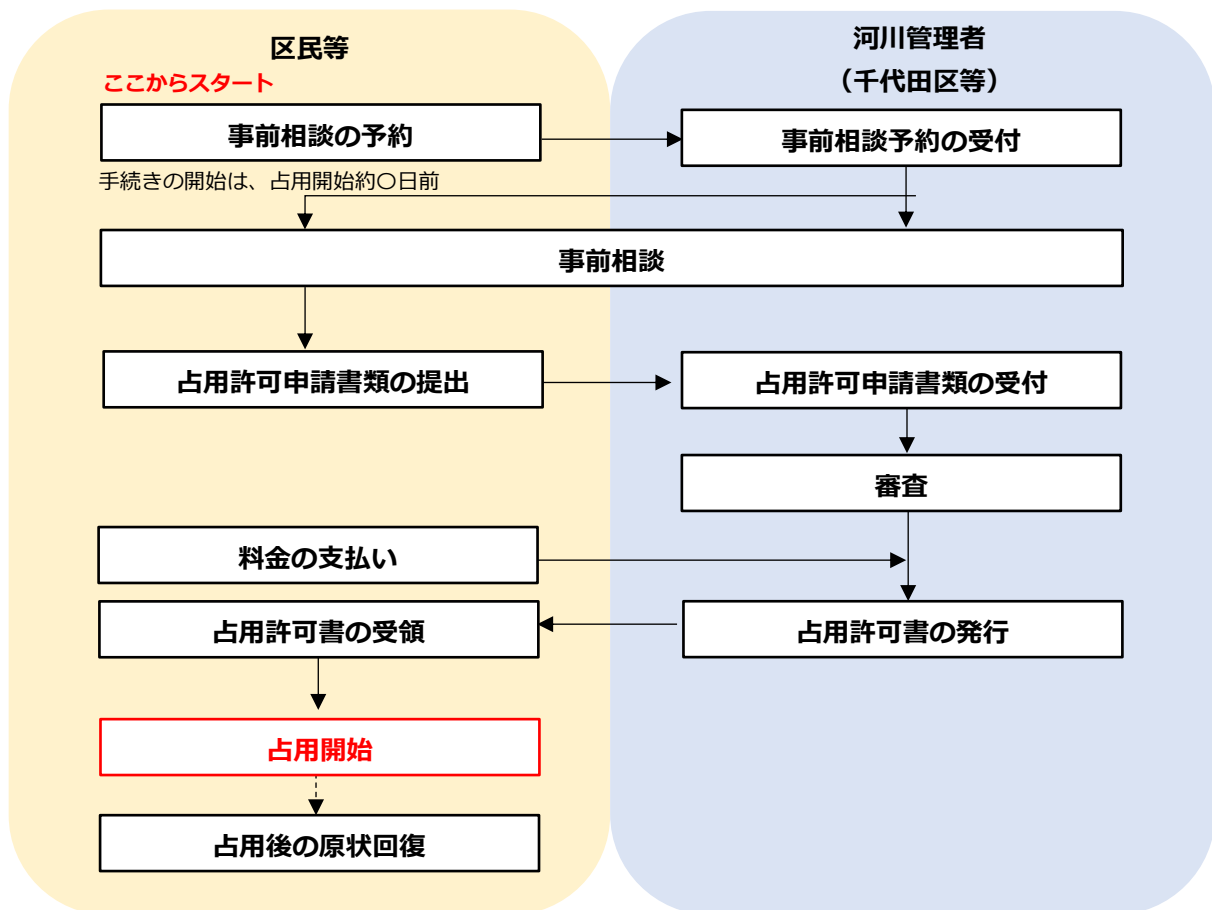
ここでは、イベント等の実施において認められたものの類型と、設置物の例を示します。

イベントの類型	設置物の例
花火大会	観覧席、テント、花火設備、トイレ等
高水敷を利用したイベント（河川環境等の啓発）	テント、テーブル等
高水敷を利用したイベント（地域振興を目的）	ステージ、舞台等
水面を利用したイベント	台船等
映画・テレビ撮影	撮影設備、テント等
その他	仮設足場等

#### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- ○○
- ○○

## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 申請に必要な書類等をアンケートで確認予定。

## 問合せ

【神田川、日本橋川（区内）】

千代田区 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 占用係 ☎ 03-5211-4235

【その他】

東京都建設局 河川部 指導調整課 占用担当 ☎ 03-5320-5409

## 4 公共空間 (1) 東京都特定街区運用基準 (有効空地の活用)

### 概要

有効空地とは、東京都特定街区運用基準に指定された空地をいいます。

一定の条件を満たす場合、区民等でも有効空地を活用し、イベントなどを開催することができます。

また、イベントの内容については、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有するQOLの向上につながる）必要があります。



- 占用期間：一回の行為について、90日以内  
同一敷地において、年間2回以上占用すれば、全行為の延べ日数が180日以内
- 占用面積：当該街区の有効空地実面積の25%以内

### 対象行為

- ① 地域の活性化に寄与する行為
- ② 公衆の文化活動又はレクリエーション活動の向上に寄与する行為
- ③ 東京のしゃれた街並みづくり推進条例第39条に規定するまちづくり団体による地域まちづくり活動
- ④ 建設行為又は管理行為
- ⑤ その他の公共公益に資する行為

#### ▼千代田区における特定街区

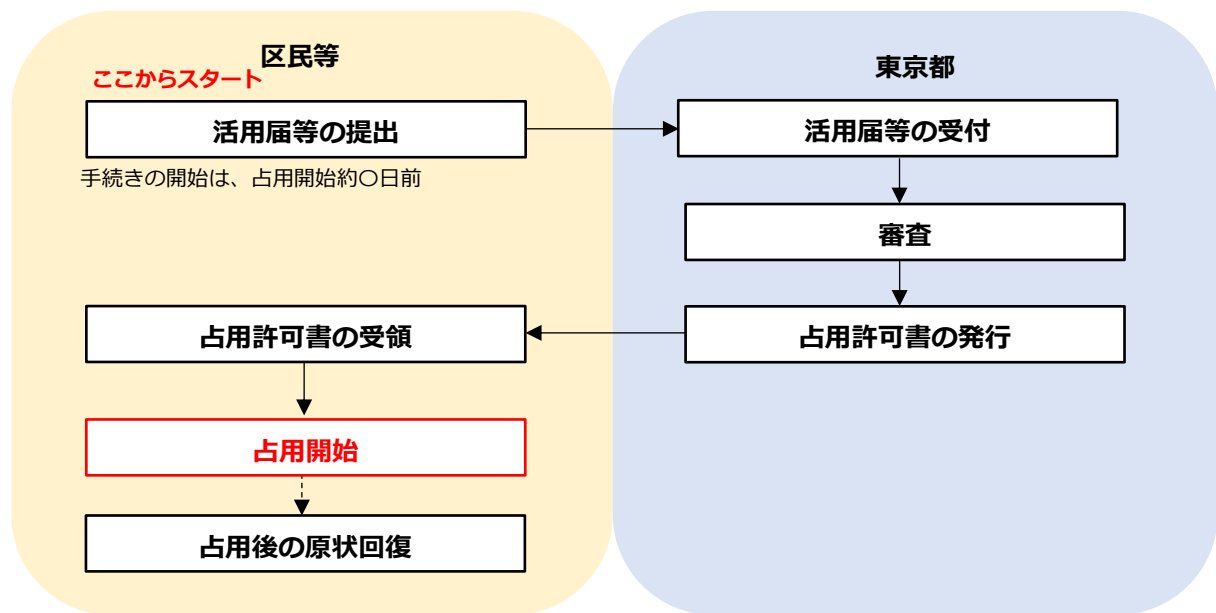
	街区名	所在地
①	霞ヶ関3丁目（霞が関ビル、会計検査院）	千代田区霞ヶ関三丁目
②	常盤橋（日本ビル、朝日生命ビル、大和証券ビル）	千代田区大手町二丁目
③	飯田橋一丁目（ホテル・グランドパレス）	千代田区飯田橋一丁目
④	紀尾井町（ホテルニューオータニ）	千代田区紀尾井町
⑤	内幸町二丁目（日比谷シティー新生銀行）	千代田区内幸町二丁目
⑥	有楽町一丁目（第一生命、農林中央金庫共同ビル）	千代田区有楽町一丁目
⑦	新幸橋（第一ホテル、東電）	千代田区内幸町一丁目
⑧	平河町二丁目（都道府県会館）	千代田区平河町二丁目
⑨	丸の内二丁目（丸ビル）	千代田区丸の内二丁目
⑩	丸の内一丁目（日本工業倶楽部会館）	千代田区丸の内一丁目
⑪	丸の内二丁目（その2）（明治生命館他）	千代田区丸の内二丁目
⑫	丸の内一丁目（その2）（新丸ビル）	千代田区丸の内一丁目

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- ○○
- ○○



## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 有効空地の活用届（様式4）

## 問合せ（有効空地の活用に関すること）

東京都都市整備局 都市づくり政策部 土地利用計画課再開発等促進区担当

☎ 03-5388-3318

## 4 公共空間

### (2) 千代田区立広場の設置及び管理に関する要綱

#### 概要

一定の条件の下、広場の用途または目的を妨げない限度でイベント等のために使用することができます。

区立広場は区民等の憩いのために設置されており、利用者の制限を設けていないことから、イベントの内容については、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有するQOLの向上につながる）必要があります。



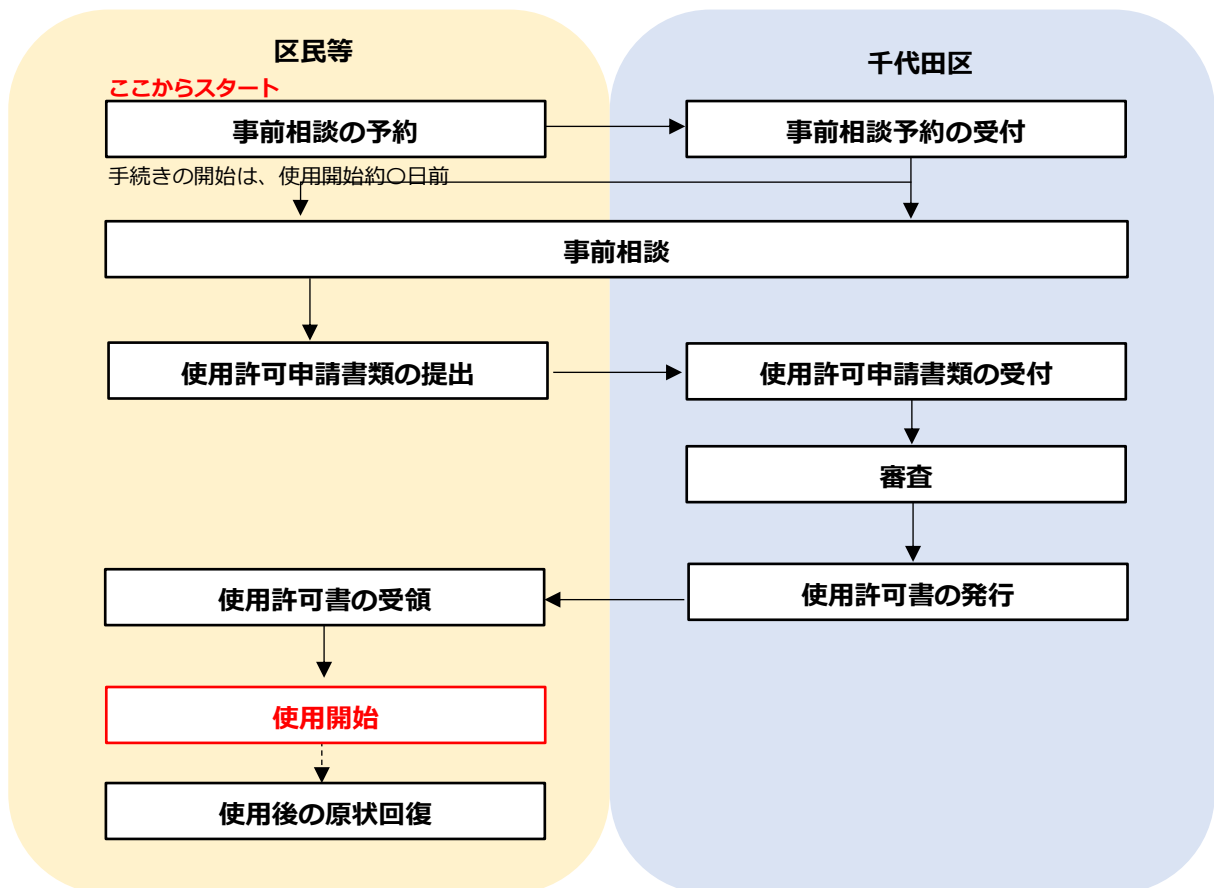
#### ▼区立広場一覧

名称	所在地
麴町こどもの広場	千代田区麴町六丁目2番地先
飯田橋こどもの広場	千代田区飯田橋三丁目12番3号
昌平橋東橋詰広場	千代田区外神田一丁目1番1号
昌平橋西橋詰広場	千代田区外神田二丁目1番17号
四ッ谷駅前広場	千代田区麴町六丁目6番地先
内幸町広場	千代田区内幸町一丁目5番1号
小川広場	千代田区神田小川町三丁目6番地
西神田けやきの広場	千代田区西神田三丁目36番地
隼町広場	千代田区隼町1番
岩本町馬の水飲広場	千代田区岩本町三丁目10番先
西神田百樹の広場	千代田区西神田三丁目39番2
秋葉原駅東口広場	千代田区佐久間町一丁目22番地先
大和橋広場	千代田区岩本町三丁目6番地先
秋葉原中央令和広場	千代田区神田松永町200番地

#### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- ○○
- ○○

## 制度活用の手続き



### 必要書類

- 申請に必要な書類等をアンケートで確認予定。

### 問合せ（有効空地の活用に関すること）

千代田区 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 財産管理係 ☎ 03-5211-4234

## 5 公開空地 公開空地の一時占用(総合設計制度)

### 概要

建築基準法に基づく総合設計制度で設置された公開空地は、一定の条件を満たす場合に、一時占用しイベントなどを開催することができます。

公開空地は、歩行者が日常自由に通行または利用できる空地のため、イベントの内容については、地域の活性化や都市における賑わい創出等の観点から公的価値がある（地域が共有する QOL の向上につながる）必要があります。

- 占用期間：1 回の行為について、90 日以内  
同一敷地において、年間 2 回以上占用すれば、全行為の延べ日数が 180 日以内
- 占用面積：当該敷地の公開空地の 50%以内

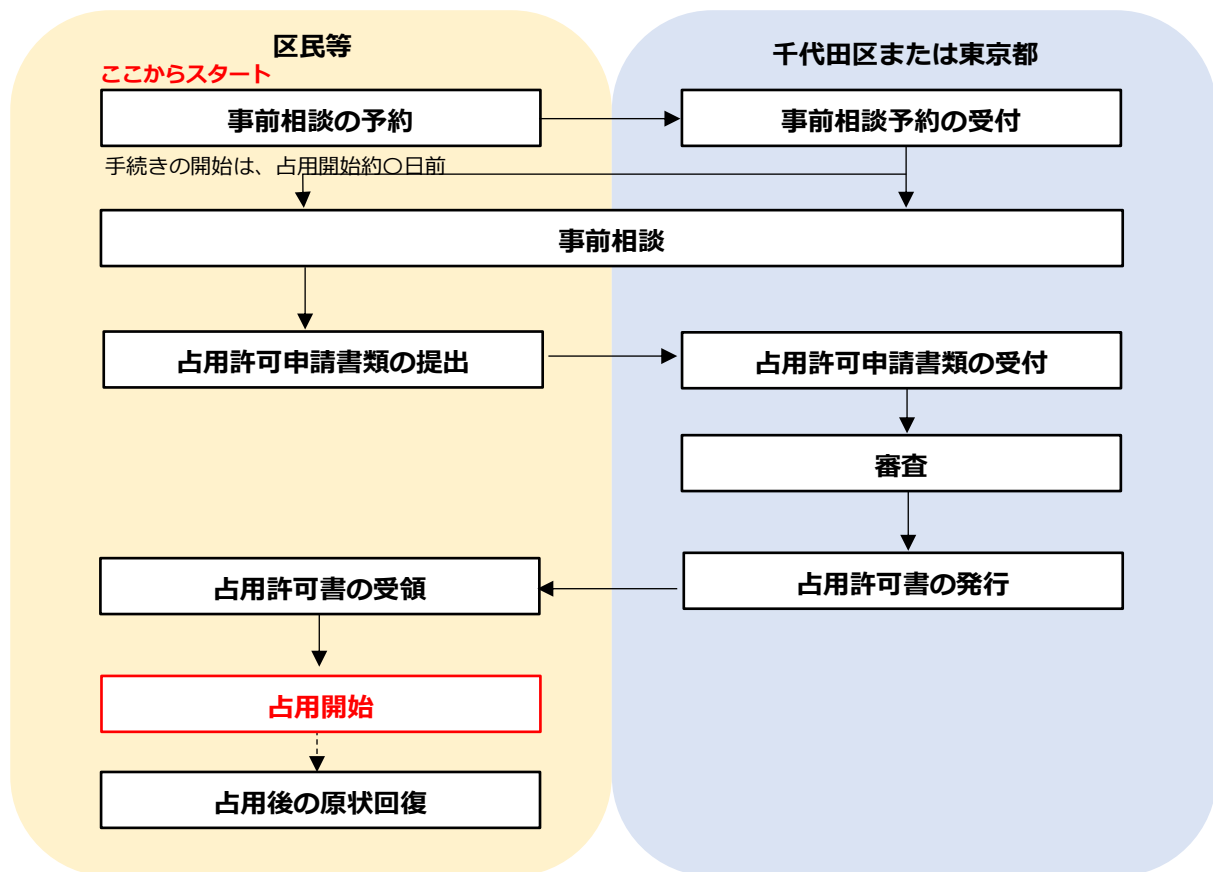
### 対象行為

- ① 地域の活性化に寄与する行為（町会の催し等）
- ② 許可を受けた建築物及びその敷地内にある工作物に係る建設行為又は管理行為（マンションの改修工事に伴う仮囲い設置等）
- ③ その他の公共公益に資する行為（公共的自転車駐輪場の設置等）

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- ○○
- ○○

## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 公開空地の一時占用申請書（区：様式 8、都）を千代田区長に提出し、承認を受けなければなりません。

## 問合せ

【延べ面積が 1 万平方メートル未満の建築物の公開空地】

千代田区 環境まちづくり部 建築指導課建築審査係 ☎ 03-5211-4308

【延べ面積が 1 万平方メートル超の建築物の公開空地】

東京都都市整備局 市街地建築部 建築指導課 建築計画担当 ☎ 03-5388-3374

## 6 飲食 食品営業許可

### 概要

飲食店営業をはじめとした食品衛生法第 55 条の規定に該当する 32 業種の営業を営む場合、都道府県知事の許可が必要です。

また、営業許可の対象となっていない食品に関する業種の営業を営む場合においても、一部の届出対象外の営業者を除き、管轄の保健所に届出をする必要があります。

また、営利を目的としない縁日、祭礼等の行事においても、不特定多数を対象として食品を提供する営業等を始める場合は、臨時営業の許可申請又は臨時出店の届出が必要となります。

※出店内容によって必要となる手続きが異なります。

### 対象

- ・許可 = 食品衛生法施行令第 55 条に規定される 32 業種(許可営業)に該当する食品等事業者
- ・届出 = 上記及び届出対象外営業に該当しない全ての食品等事業者(食品の製造・加工・調理・販売等)

営業の種別		
許可	届出	届出対象外
食品衛生法施行令第 35 条に規定される 32 業種 1 飲食店営業 2 調理の機能を有する自動販売機 3 食肉販売業 4 魚介類販売業 5 魚介類競り売り営業 6 集乳業 7 乳処理業 8 特別牛乳搾取処理業 9 食肉処理業 10 食品の放射線照射業 11 菓子製造業 12 アイスクリーム類製造業 13 乳製品製造業 14 清涼飲料水製造業 15 食肉製品製造業 16 水産製品製造業 17 氷雪製造業 18 液卵製造業 19 食用油脂製造業 20 みそ又はしょうゆ製造業 21 酒類製造業 22 豆腐製造業 23 納豆製造業 24 麺類製造業 25 そうざい製造業 26 複合型そうざい製造業 27 冷凍食品製造業 28 複合型冷凍食品製造業 29 漬物製造業 30 密封包装食品製造業 31 食品の小分け業 32 添加物製造業	<p style="text-align: center;">許可営業</p> <p style="text-align: center;">及び</p> <p style="text-align: center;">届出対象外営業</p> <p style="text-align: center;">に該当しない営業者は、 管轄の保健所に<b>営業届出</b> をする必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 食品又は添加物の輸入業</li> <li>◆ 食品又は添加物の貯蔵又は運搬のみをする営業(ただし、冷凍・冷蔵倉庫業は除く。)</li> <li>◆ 常温で長期間保存しても腐敗、変敗その他品質の劣化による食品衛生の危害の発生のおそれがない包装食品の販売業</li> <li>◆ 合成樹脂以外の器具容器包装の製造業</li> <li>◆ 器具容器包装の輸入又は販売業</li> </ul>

出典：厚生労働省

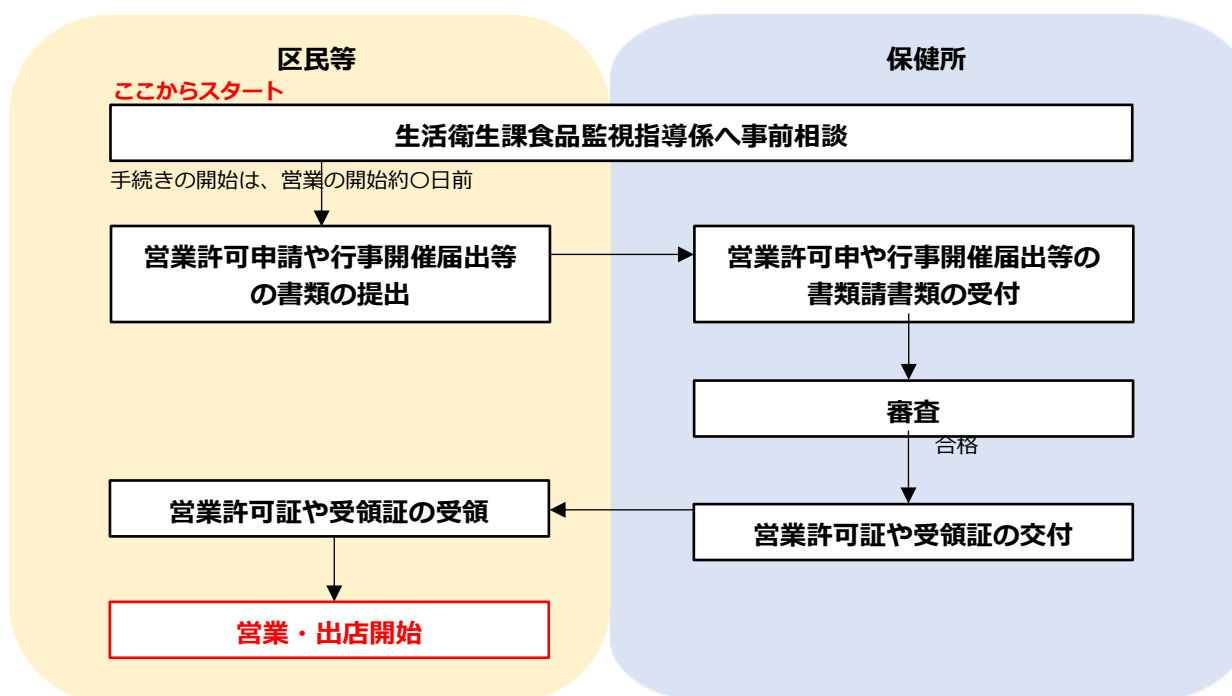
- ・臨時出店届出、移動型臨時営業：縁日・祭礼等（※）において、不特定多数を対象として営業等をする方

※不特定多数の方が自由に参加できる行事で、公共目的を有する短期的な行事

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- ○○
- ○○

### 制度活用の手続き



- 食品営業許可を申請する前に、工事着工前の施設の設計図等を持参のうえ、千代田保健所への事前相談が必要になります。
- 事前相談の後、食品営業許可が必要な場合は、施設完成予定日の約 10 日前までに、営業許可申請書・営業届、施設の構造及び設備を示す図面、水質検査成績書、食品衛生責任者の資格を証明するもの、申請手数料などを提出してください。
- 自動車で営業する場合は、営業の許可が必要になります。
- 法人の場合は、3 か月以内に発行された法人の登記事項証明書（全部事項証明書または現在事項証明書）が必要になります。
- 取り扱う食品によっては、施設の図面が必要になる場合があります。
- 出店当日は、保健所受領印を受けた「行事における臨時出店届」の写しを、施設の見やすいところに掲示または携帯してください。

### 問合せ

千代田保健所 生活衛生課 食品監視指導係 ☎ 03-5211-8168

## 7 防火 (1) 露店等開設届出

### 概要

お祭り・イベントなど不特定多数の人が集まる催しにおいて、火気使用器具等を使用する露店を開設する場合は、露店等開設届出を消防署長に提出する義務があります。



### 対象

祭礼・縁日・花火大会・展示会・屋外イベント(※)で、対象火気器具等を使用する

- 露店等を開設する者
- 催しの主催者・施設の管理者・露店等の開設を統括する者(一つの催しに複数の対象火気器具等を使用する露店等が開設される場合)

※個人的なつながりによるバーベキュー、子ども会における野外催しなどは含まない。

### 対象火器器具

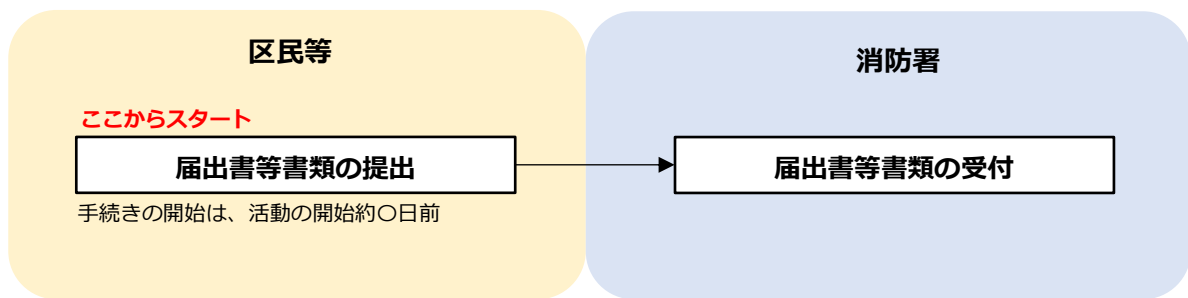
発電機、ストーブなど液体燃料(灯油・ガソリン等)を使用する器具、七輪、バーベキューコンロなど固体燃料(炭・練炭等)を使用する器具、卓上型ガスコンロ、ガス炊飯器など気体燃料(プロパンガス等)を使用する器具、電気コンロ、電気ストーブなど電気器具(電気を熱源とする器具)

### 留意事項等 (担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定)

- ○○
- ○○



## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 露店等開設届出書（東京都の場合は、消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書）
  - 消火器等の配置図
- ※届出書様式については、「東京都消防庁ホームページ」参照  
（右の二次元コードからアクセス可）



## 問合せ

各地域の消防署

【麹町消防署】 ☎ 03-3264-0119

【丸の内消防署】 ☎ 03-3215-0119

【神田消防署】 ☎ 03-3257-0119

## 7 防火 (2) 防火管理者選任届

### 概要

対象となる施設やイベント等においては、防火管理制度に基づき、消防署への防火管理者選任届の提出義務があります。

防火管理者は、防火管理業務の推進責任者として、防火管理に関する知識を持ち、強い責任感と実行力を兼ね備えた管理的又は監督的な地位にある方でなければなりません。

### 対象施設やイベント

防火管理者の資格は2種類（甲種と乙種防火管理者）あり、防火対象物（テナント）によって、防火管理者の資格が変わります。

▼防火対象物の区分（福祉施設が入っている防火対象物を除く。）

	特定用途の防火対象物		非特定用途の防火対象物	
	30人以上		50人以上	
防火対象物全体の収容人員と延べ面積	300m <sup>2</sup> 以上	300m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上	500m <sup>2</sup> 未満
防火対象物の区分	甲種防火対象物	乙種防火対象物	甲種防火対象物	乙種防火対象物

▼テナントの防火管理者の資格区分（福祉施設が入っている防火対象物を除く）

	甲種防火対象物のテナント				乙種防火対象物のテナント
	特定用途		非特定用途		すべて
テナント部分の用途					すべて
テナント部分の収容人員	30人以上	30人未満	50人以上	50人未満	すべて
資格区分	甲種防火管理者	甲種又は乙種防火管理者	甲種防火管理者	甲種又は乙種防火管理者	甲種又は乙種防火管理者

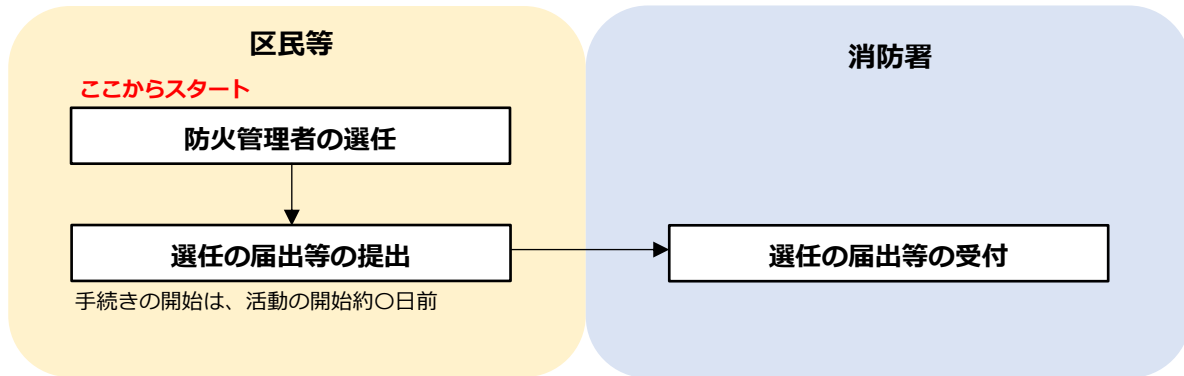
▼建築物以外の屋外イベント

	要件
①	大規模な催しが開催可能な公園、河川敷、道路その他の場所を会場として開催するもので、一日あたりの人出予想が10万人以上である屋外催しであること
②	主催する者が出店を認める露店等の数が100店舗を超える規模として計画されている催しであること

**留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）**

- ○○
- ○○

**制度活用の手続き**



**必要書類**

- 防火管理者選任届出書
- 選任された方の防災管理講習修了証（手帳）  
※申請様式については、「東京都消防庁ホームページ」参照  
（右の二次元コードからアクセス可）



**問合せ**

各地域の消防署

【麴町消防署】 ☎ 03-3264-0119

【丸の内消防署】 ☎ 03-3215-0119

【神田消防署】 ☎ 03-3257-0119

## 7 防火 (3) 消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書

### 概要

火災予防条例第 69 条に基づき、消防隊の通行その他消防活動に支障を及ぼすおそれのある道路工事やその他消火活動に支障となる露店の開催を行う者は、あらかじめその旨を消防署長に届け出なければなりません。

消防車の火災現場への到着の遅延等により、火災の拡大につながるおそれがあるため、事前にその情報を入手し、緊急出動に支障をきたさないように、規定しているものです。

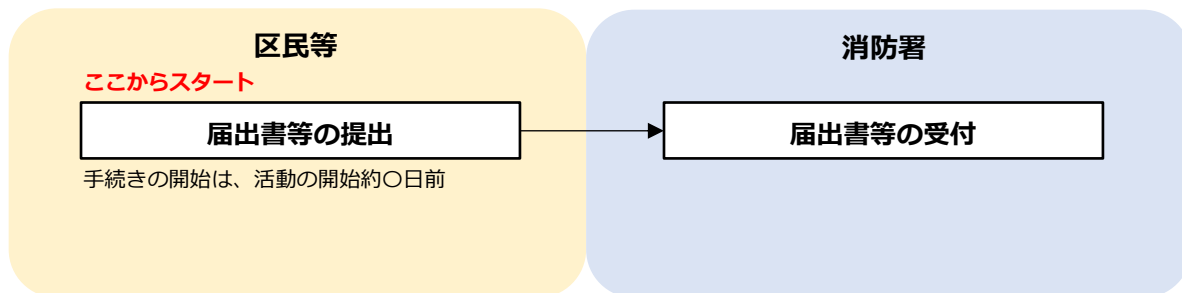
### 対象

消防隊の通行、その他の消火活動に支障となる露店の開催をするとき、当該行為を実施しようとする場所を管轄する消防署に消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書が必要になります。

### 留意事項等 (担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定)

- ○○
- ○○

### 制度活用の手続き



### 必要書類

- 消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書
- 道路使用区域の略図  
※届出書の様式については、「東京都消防庁ホームページ」参照  
(右の二次元コードからアクセス可)



### 問合せ

各地域の消防署

【麴町消防署】 ☎ 03-3264-0119

【丸の内消防署】 ☎ 03-3215-0119

【神田消防署】 ☎ 03-3257-0119

## 7 防火 (4) 火災予防上必要な業務に関する計画届出

### 概要

火災予防上必要な業務に関する計画届出は、火災予防条例第 55 条の 3 に基づき、火気使用器具等を使用する大規模な屋外催しにおいて、事前に防火担当者を定めて火災予防上必要な業務に関する計画を消防署長に提出するよう義務付けられた制度です。

### 対象

- 一日当たり 10 万人以上の人出が予想され、かつ、主催する者が出店を認める露店等の数が 100 店舗を超えるもの
- 上記に準ずる規模であると消防署長が認めるもの

### 提出する計画の内容

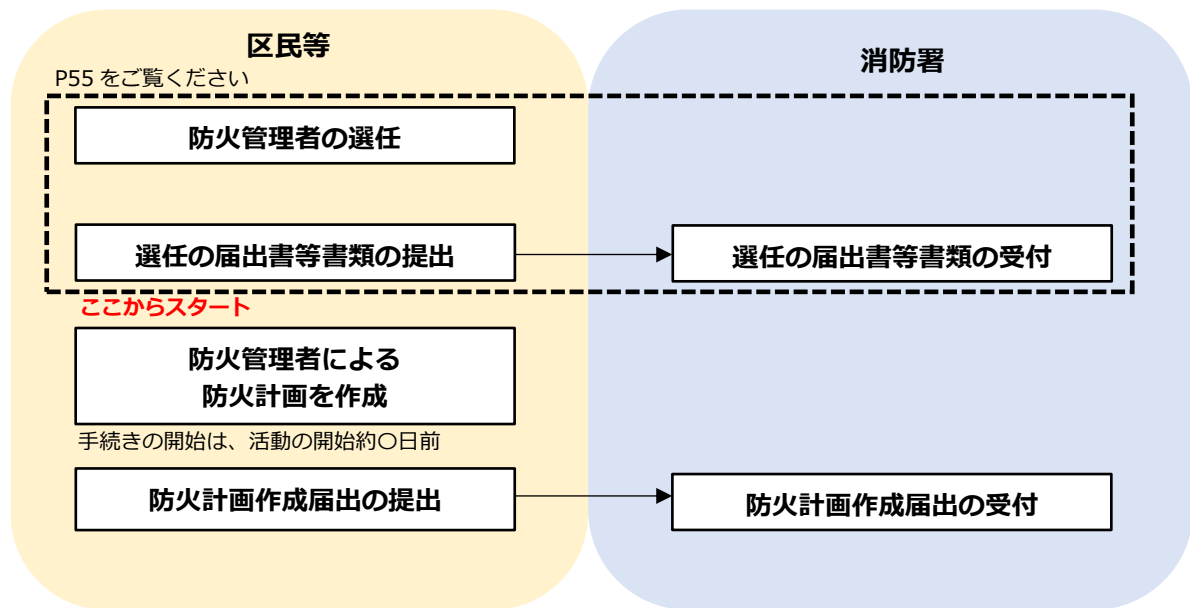
防災担当者は、以下の火災予防上必要な業務について定めた火災予防上必要な業務に関する計画を定める必要があります。

火災予防上必要な業務に関する計画の内容	
①	火災の予防に関する業務の実施体制の確保に関すること
②	火気使用器具等の使用及び危険物の取扱いの状況の把握に関すること
③	火気使用器具等を使用し、又は危険物を取り扱う露店等及び客席の火災予防上安全な配置に関すること
④	火気使用器具等に対する消火準備に関すること
⑤	火災が発生した場合における消火活動、通報連絡及び避難誘導に関すること
⑥	消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為に係る消防活動上必要な事項の把握に関すること
⑦	①～⑥のほか、火災予防上必要な業務に関すること

### 留意事項等 (担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定)

- ○○
- ○○

## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 防火管理者選任届出書
- 火災予防上必要な業務に関する計画提出書  
※申請様式については、「東京都消防庁ホームページ」参照  
(右の二次元コードからアクセス可)



## 問合せ

各地域の消防署

【麴町消防署】 ☎ 03-3264-0119

【丸の内消防署】 ☎ 03-3215-0119

【神田消防署】 ☎ 03-3257-0119

## 8 広告 屋外広告物許可申請

### 概要

屋外広告物とは、(1)常時又は一定の期間継続して、(2)屋外で、(3)公衆に表示されるものであって、(4)看板、立看板、はり紙及びはり札並びに広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され、又は表示されたもの並びにこれらに類するものをいいます。

まちの良好な景観を形成するため、屋外広告物を設置する場合、原則として東京都屋外広告物条例に基づく許可を受ける必要があります。

#### ■ 設置禁止地区

禁止地区
第一種および第二種低層住居専用地域・第一種および第二種中高層住居専用地域
旧美観地区、風致地区
社寺、教会
公園、緑地、河川
学校、病院、図書館、官公署
道路、鉄道および軌道の路線用地

※自家用広告物の場合、条件に合えば、禁止地区内でも広告物を表示することができます。

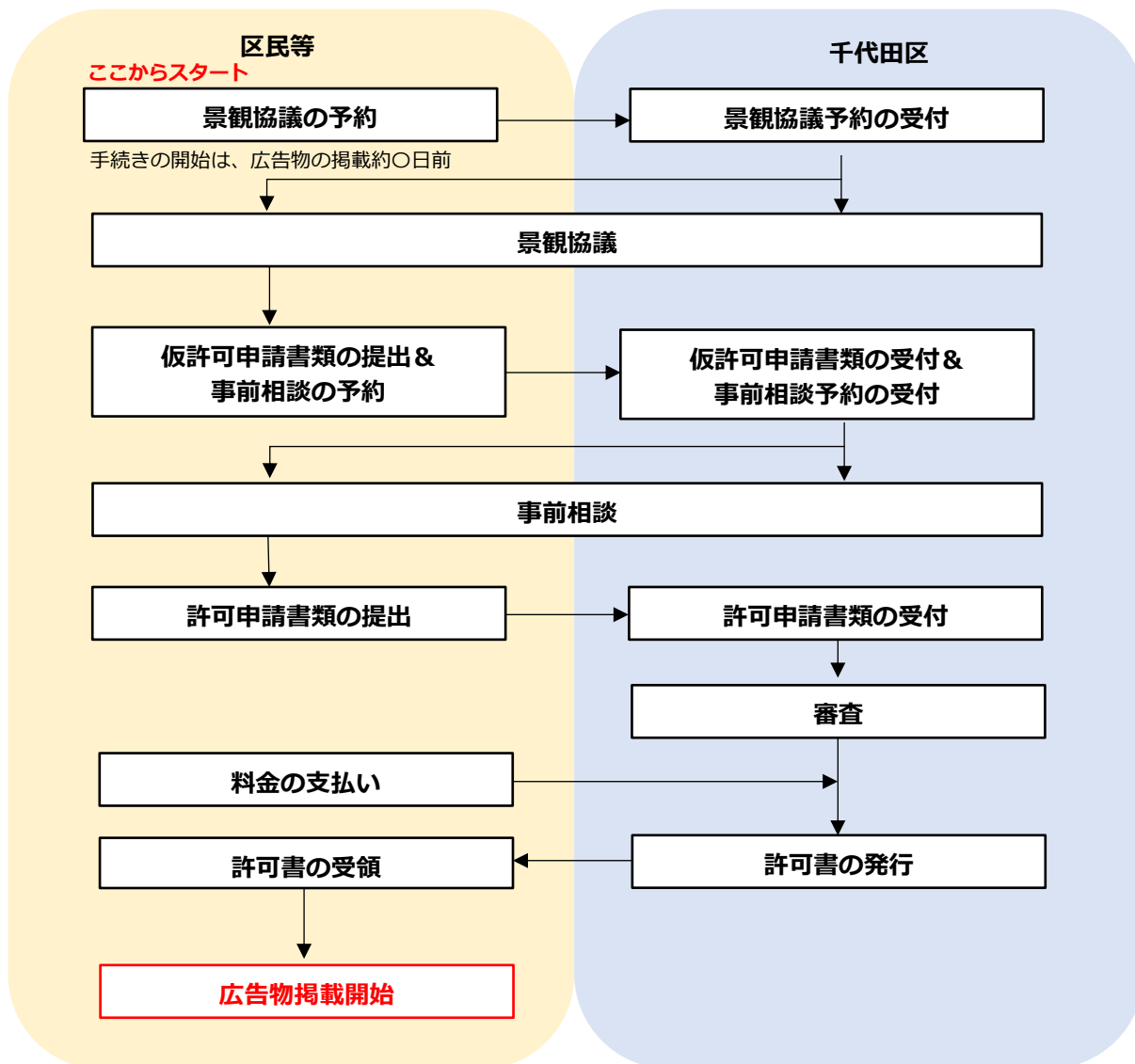
#### ■ 設置禁止物件

禁止物件
橋（歩道橋を含む）、高架道路、標識、街路樹、郵便ポスト、公衆電話ボックス等

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- 屋外広告物許可を申請する前に、景観協議を行う必要があります。
- ○○

## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 屋外広告物許可申請書
    - 添付書類（案内図、仕様書、デザイン図、設計図、配線図、承諾書など）
- ※添付書類、または料金について、「千代田区のホームページ」参照  
(右の二次元コードからアクセス可)



## 問合せ

### 【屋外広告物に関すること】

千代田区 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 占用係 ☎ 03-5211-4235

### 【景観協議に関すること】

千代田区 環境まちづくり部 景観・都市計画課 景観指導係 ☎ 03-5211-3639



## 9 保険 各種保険等

### 概要

イベント等の実施に際して起こる偶然な事故等による損害等に備えて、各種保険等に加入することが望ましいです。イベントや地域活動等の実施に際して起こる偶発的な事故等による損害等に備えて、民間の保険会社、組織等により、各種保険が用意されています。

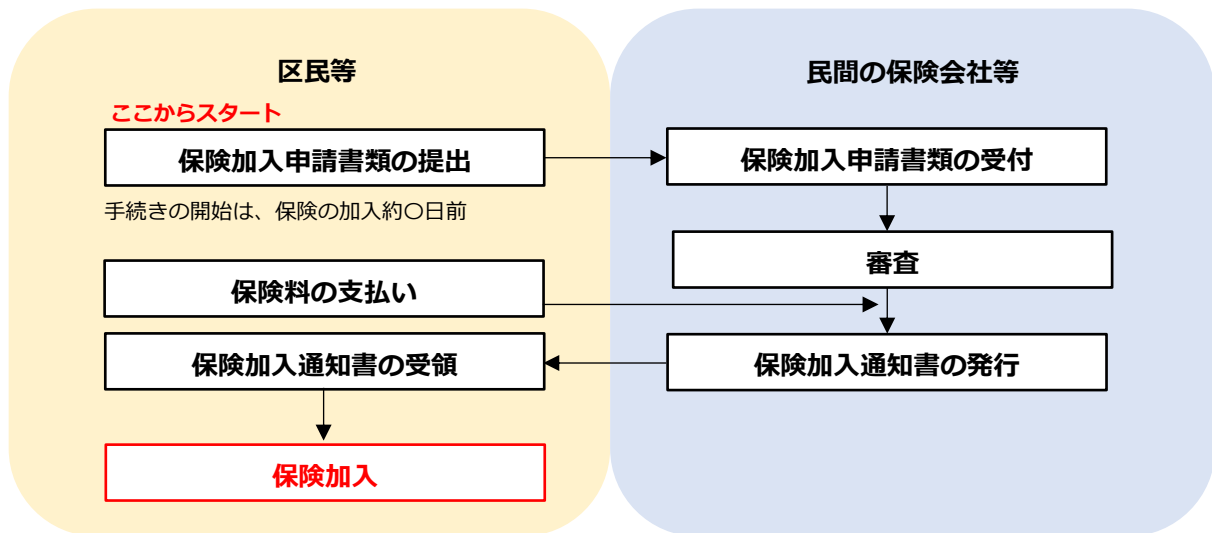
#### ▼主な保険の種類

保険の種類	保険の内容等
ボランティア保険	ボランティア活動のための代表的な保険であり、活動中のけが（傷害）や賠償責任を補償する保険
興行中止保険	イベントをやむを得ず中止した場合に、その準備にかかった費用や、中止のため臨時に支出した費用を補償する保険
施設賠償責任保険	自身が保有または管理する事業用の施設・建物の欠陥や不備によって他人にケガを負わせた場合など、支払う損害賠償額を補償する保険
傷害保険	イベント中に参加者がけがをしてしまったときに、その参加者に支払う治療費等を補償する保険
スポーツ安全保険	スポーツ活動、文化活動、レクリエーション活動、地域活動などを行うアマチュアの団体・グループを対象とした傷害保険等
スポーツ・文化法人責任保険	法人が社会教育活動を行う場合、その活動中に発生した事故により、損害賠償責任を負う可能性があり、そのような賠償事故に備える保険
レジャー・サービス施設費用保険	レジャー・サービス施設では発生したけがや食中毒による見舞金給付等の費用損害を補償する保険
文化財総合保険	国または地方公共団体の指定を受けた建造物および美術工芸品等を保険の目的として、すべての偶然な事故によって生じた損害を修復費ベースで補償する保険

### 留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）

- ○○
- ○○

## 制度活用の手続き



※必要書類や具体的手続きは、保険の種類等により異なります。

## 問合せ

各保険を取り扱う会社にお問い合わせください。

## 10 文化 ヘブンアーティスト事業

### 概要

東京都では、文化振興の一環として、公園等の公共の場所を音楽演奏やパフォーマンスを行う場所として開放しており、アーティストたちが互いに切磋琢磨し、創造し、表現する場を提供するとともに、都民や東京都を訪れる方が身近な所で文化に親しむ機会を提供しています。

ヘブンアーティストは、東京都が実施する専門家による審査に合格し、ライセンスを交付されたアーティストです。ライセンスを交付されたアーティストは、東京都が指定する都立公園や民間施設等の決められた場所で、あらかじめ予約した日時に、音楽演奏やパフォーマンスを行うことができます。

### 対象団体

- ヘブンアーティストのライセンスを有する者

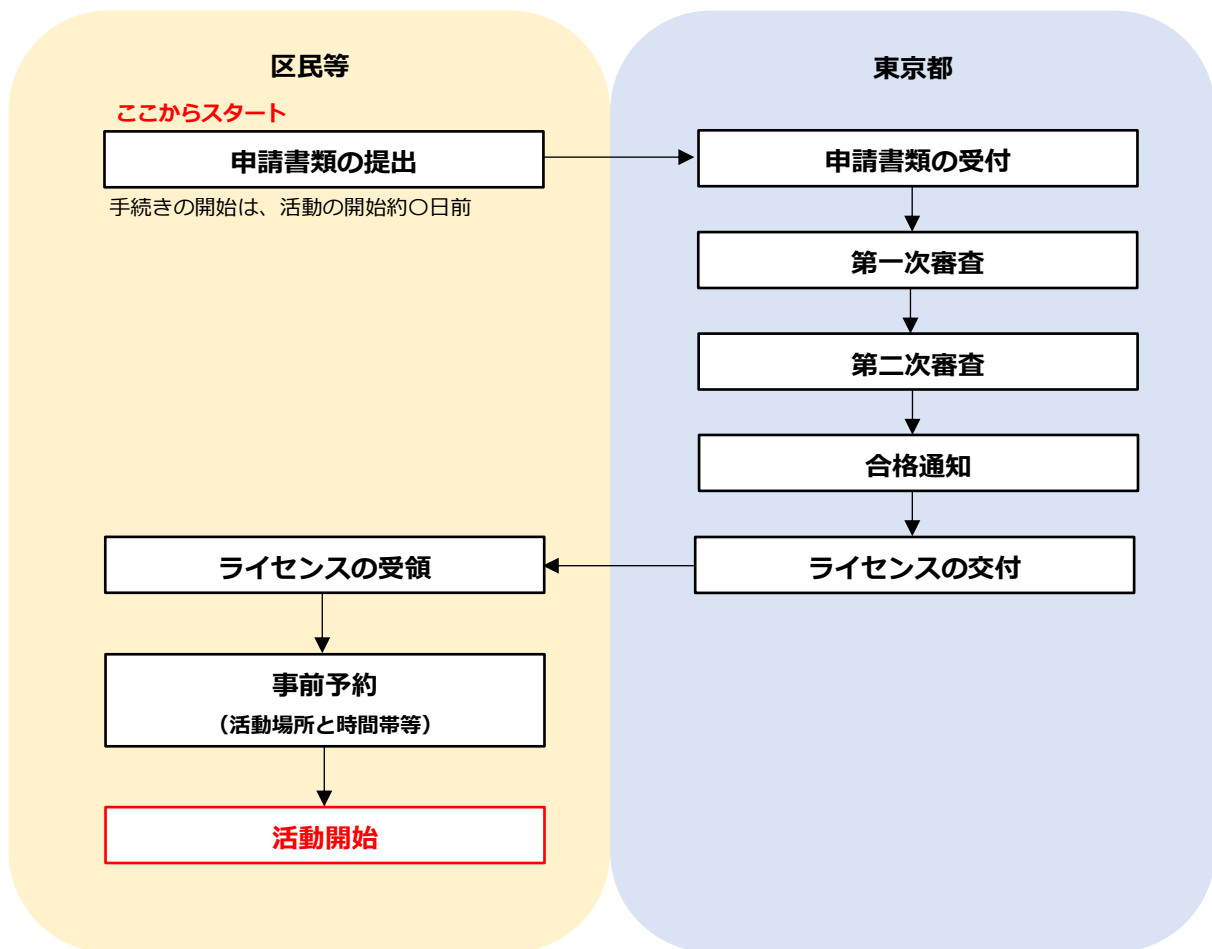
### 千代田区における対象地域

- 丸の内ビルディング マルキューブ外構部
- 東京国際フォーラム 地上広場
- 東京交通会館 1階書点前
- 日本ビル前中央道
- 日比谷公園 噴水広場

### 留意事項等 (担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定)

- 音楽部門とパフォーマンス部門は、同時に応募できません。
- このライセンスは、一般の路上などでの音楽演奏やパフォーマンスを認めるものではありません。

## 制度活用の手続き



## 必要書類

- 応募用紙、写真、活動内容が分かる映像資料 (DVD)

## 問合せ

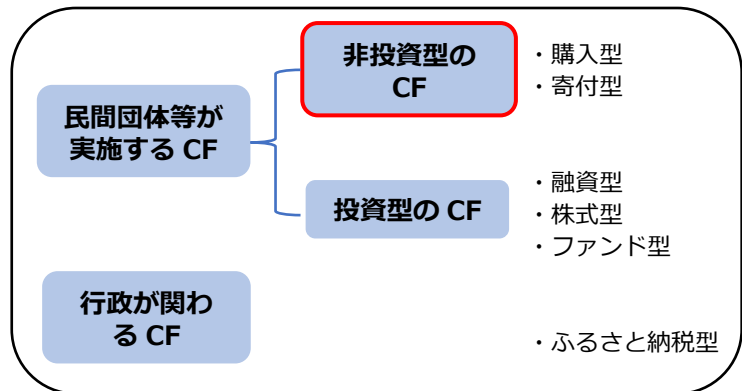
東京都 生活文化スポーツ局 文化振興部 文化事業課内ヘブンアーティスト事務局

☎ 03-5320-7585

## 11 商工 (1) クラウドファンディング

### 概要

クラウドファンディング (crowdfunding、CF) とは、活動実行者がインターネットを通して自分の活動・イベントを発信することにより、その想いに共感した不特定多数の人（支援者）が支援金を提供し、支援者には支援金に応じて、活動に関連する商品やサービス等のリターンが実行者から提供されるしくみです。



クラウドファンディングは、一般的に「購入型」、「寄付型」、「融資型」、「株式型」、「ファンド型」、そして「ふるさと納税型」の6つに分けられますが、ここでは、地域活動の財源として、よく用いられる「非投資型のクラウドファンディング」である「購入型」と「寄付型」を紹介します。

### 「購入型」と「寄付型」

地域活動の財源として、よく使われる「購入型」と「寄付型」を紹介します。

#### ■ 購入型

「購入型」とは、活動実施者が、ある商品・サービスの開発費用の出資を募り、集まった資金で開発した商品・サービスを支援者にリターンする仕組みとなります。



#### ■ 寄付型

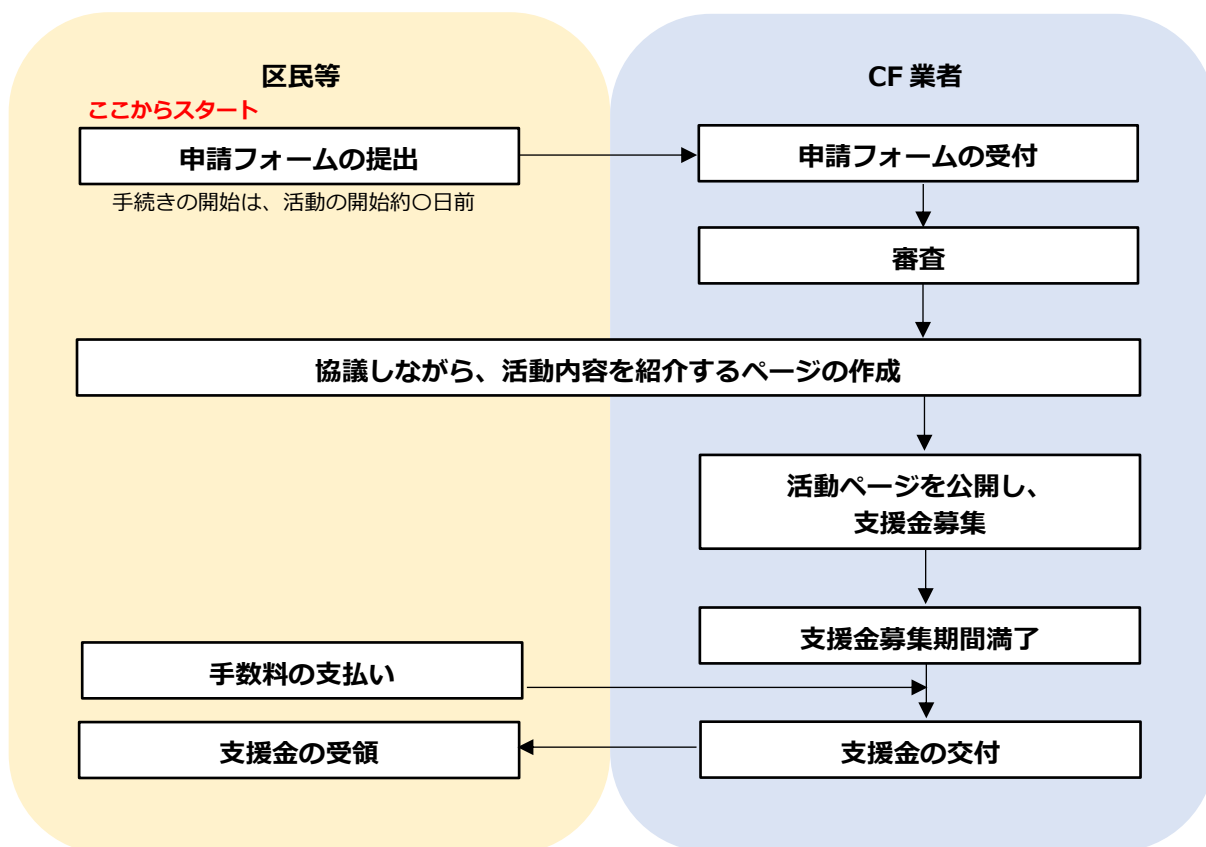
「寄付型」とは、活動実施者が、支援者から寄付金を受けて活動を行うものの、活動の成功・失敗にかかわらず、リターンがない仕組みとなります。



## 留意事項等

- 「瑕疵担保責任」と「特定商取引法に基づく表記」は、購入型 CF を使う活動実施者に適用されます。
- 寄付型 CF を使う活動実施者が、支援者から寄付を受けた場合、支援者から金銭の寄付を受けた時点で、税金を支払う義務が生じます。

## 制度活用の手続き



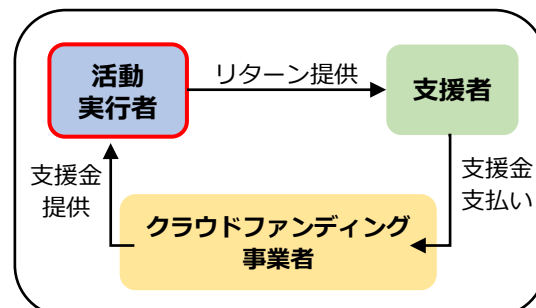
## 問合せ

各 CF 業者にお問い合わせください。

## 11 商工 (2) クラウドファンディング活用資金調達事業 支援補助制度

### 概要

クラウドファンディング活用資金調達事業支援補助制度は、東京都の「クラウドファンディングを活用した資金調達（CF 活用助成金）」を利用した区内中小企業者、創業希望者に対し、クラウドファンディング事業者への支払手数料の一部を補助する制度です。



- 交付対象：都内で事業を行う、次のいずれかに該当する創業希望者または中小事業者
  - ・創業の計画がある者
  - ・創業から5年未満の者
  - ・新製品新サービスの創出に挑戦する者
  - ・『未来の東京』戦略の戦略に寄与するソーシャルビジネスを行う者
- 補助率：CF 事業者を支払った利用手数料の1/2
- 補助限度額：40万円

### 助成の対象となる取扱 CF 事業者

事業者名	取扱類型
A-port	購入型・寄付型
BOOSTER	購入型
CAMPFIRE	購入型
GoodMorning	購入型・寄付型
GREEN FUNDING	購入型
JAPANKURU FUNDING	購入型
Kibidango	購入型
machi-ya	購入型
Makuake	購入型
MOTION GALLERY	購入型
READYFOR	購入型・寄付型

\*「寄付型」は、ウェブサイト上で寄付を募り、寄付者向けにニュースレターを送付するなど形になります。

\*「購入型」は、購入者から前払いで集めた代金を行事やイベントを開催し、購入者に入場券等や開催特典等を提供する形になります。

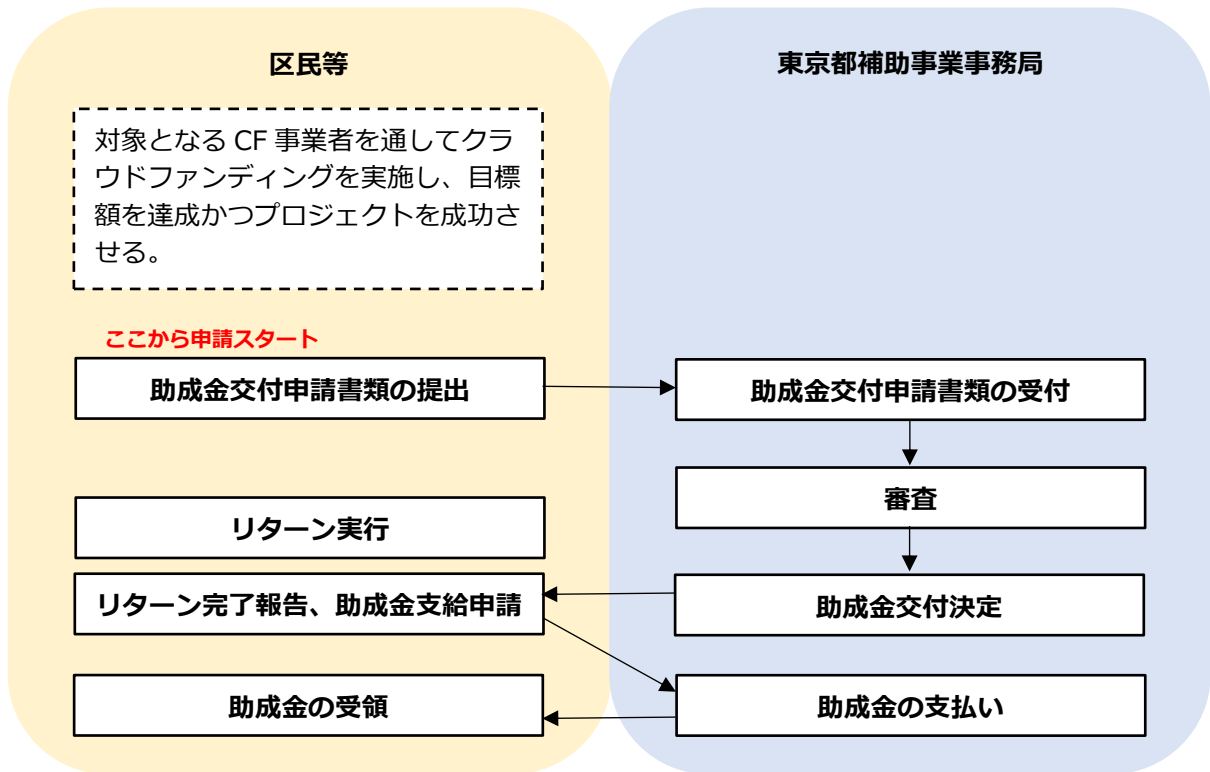
補助対象経費 ※消費税額および地方消費税額は補助対象外

- クラウドファンディング事業者を支払った利用手数料（ただし、CF 活用助成金の支給額を差し引いた額）

**留意事項等（担当課等へのアンケートに基づき、特に注意していただきたい内容等を掲載予定）**

- ○○
- ○○

**制度活用の手続き**



**必要書類**

- 申請に必要な書類等をアンケートで確認予定。

**問合せ**

クラウドファンディング資金調達支援事務局（運営：銀座セカンドライフ株式会社）

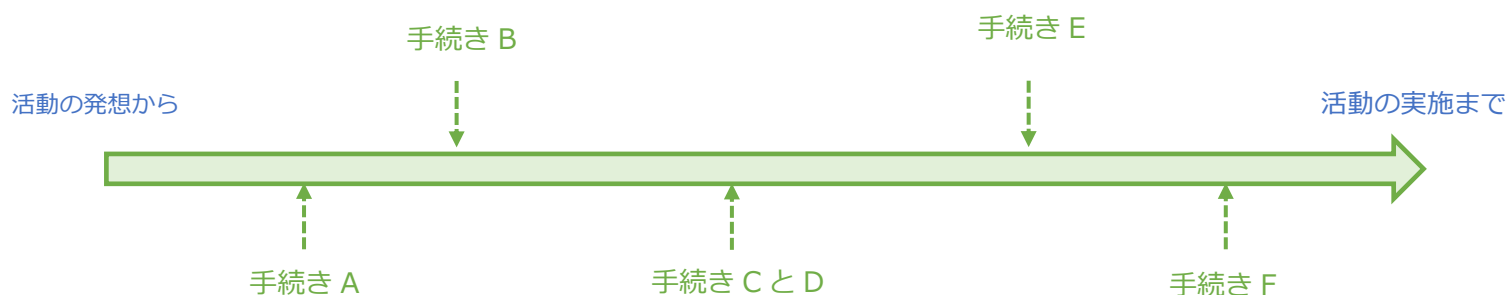
☎ 03-6403-9225



# 第 5 章

## エリアマネジメント活動の流れ

- 地域の QOL の向上につながる活動の実施に向けては、場所の確保、資金の確保、火器の使用の有無等にあわせて様々な制度等の利用や許可を得る必要があります。
- 本章では、エリアマネジメント活動の実施に至るまでの流れの例をケース別に示します。



# 1 公共空間を使ったイベント活動の実施

地域の求める QOL : 地域コミュニティの醸成

## 実施内容・実施場所の検討

公園

道路

河川敷地

公開空間(広場等)

公開空地

道路占用、使用の  
手続きについて、  
P.Oを参照

河川敷地の占用  
手続きについて、  
P.Oを参照

公開空間の占用手続き  
について、P.Oを参照

公開空間の占用  
手続きについて  
P.Oを参照 など

## 公園でこんなことをやりたい！

スポーツイベント

マルシェ

お祭り

など

露店や工作物等を設置しますか？

いいえ

【手続き】(開催約△ヶ月前)  
・公園使用許可 (P.Oを参照)  
・各種保険 (P.Oを参照)

はい

飲食を提供又は販売  
をしますか？

いいえ

【手続き】(開催約△ヶ月前)  
・公園使用許可 (P.Oを参照)  
・公園占用許可 (P.Oを参照)  
・各種保険 (P.Oを参照)

はい

火気を使用しますか？

いいえ

【手続き】(開催約△ヶ月前)  
・公園使用許可 (P.Oを参照)  
・公園占用許可 (P.Oを参照)  
・食品営業許可 (P.Oを参照)  
・各種保険 (P.Oを参照)

はい

【手続き】(開催約△ヶ月前)  
・公園使用許可 (P.Oを参照) ・公園占用許可 (P.Oを参照)  
・食品営業許可 (P.Oを参照) ・防災管理選任届 (P.Oを参照)  
・露店等開設届出 (P.Oを参照) ・各種保険 (P.Oを参照)  
・火災予防上必要な業務に関する計画届出 (P.Oを参照)  
・消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書 (P.Oを参照)

イベント活動の実施・開催

地域の求める QOL の向上につながったか、日常化に向けた検証

## 2 地域活動的な取組みの実施

地域の求める QOL : 地域への愛着を深める活動

### 実施内容・実施場所の検討

公園	道路	河川敷地	公開空間（広場等）	公開空地
公園占用、使用の手続きについて、P.Oを参照		河川敷地の占用手続きについて、P.Oを参照	公開空間の占用手続きについて、P.Oを参照	公開空地の占用手続きについて P.Oを参照

### 道路でこんなことをやりたい！

道路環境管理活動      子どもの遊び場      地域行事      など

工作物などを設置  
しますか？

いいえ

【手続き】（開催約△ヶ月前）  
・道路使用許可（P.Oを参照）  
・各種保険（P.Oを参照）

はい

【手続き】（開催約△ヶ月前）  
・道路使用許可（P.Oを参照）  
・道路占用許可（P.Oを参照）  
・各種保険（P.Oを参照）

地域への愛着を深める活動の実施・開始

地域の求める QOL の向上につながったか、日常化に向けた検証

定期的に道路を活用した活動をしたい場合：

【手続き】  
・アダプトシステム（資料編 P.Oを参照）  
・道路協力団体制度（資料編 P.Oを参照）

活動資金にかかるヒント！

・グランドファンディング制度（P.Oを参照）  
・千代田まちづくりサポート（資料編 P.Oを参照）

### 3 地域資源の顕在化

#### 地域の求める QOL : 歴史的な資源の顕在化

#### 実施内容・実施場所の検討

公園	道路	河川敷地	公開空間(広場等)	公開空地
公園占用、使用の手続きについて、P.Oを参照	道路占用、使用の手続きについて、P.Oを参照	河川敷地の占用手続きについて、P.Oを参照		公開空地占用の手続きについて、P.Oを参照

#### 地域の歴史的な資源を活用したい！

歴史標識の設置      歴史的な建築物の保全      昔のくらしや祭事の体験 など

工作物などを設置  
しますか？

いいえ

【手続き】  
・特になし

はい

【手続き】(開催約△ヶ月前)  
・千代田区立広場の設置及び管理に関する要綱 (P.Oを参照)  
・東京都特定街区運用基準 (P.Oを参照)

歴史的な資源を活用する活動の実施・開始

地域の求める QOL の向上につながったか、日常化に向けた検証

標識を設置したい場合：

【手続き】  
・まちの記憶保存プレート  
(資料編 P.Oを参照)

歴史的な資源活用にかかる制度：

- ・千代田区立広場の設置及び管理に関する要綱 (P.Oを参照)
- ・東京都特定街区運用基準 (P.Oを参照)
- ・文化事業助成 (資料編 P.Oを参照)
- ・Living History 促進事業 (資料編 P.Oを参照)
- ・千代田まちづくりサポート (資料編 P.Oを参照)
- ・東京歴史まちづくりファンド (資料編 P.Oを参照)

# 第6章

## エリアマネジメント活動の展開に向けて

- 本章では、千代田区のエリアマネジメント活動をより一層展開していくため、今後検討すべき事項について、以下に示します。

### 1 エリアマネジメント活動の総合相談

- エリアマネジメント活動の実施主体が、地域の課題等についてや、どんな活動ができるかを相談したり、各種制度等を利用したりしやすいように、相談窓口の設置や手続きのワンストップ化等について検討します。

### 2 制度活用の促進に向けた基準等の明確化

- 各種制度等について、だれが、どこで、どのような活動の際に利用できるかなどの基準を明確にすることを検討します。
- また、区民等がエリアマネジメント活動にチャレンジしやすくなるように、活動場所となる公共空間等の日時や曜日による違い（混雑状況、使いやすさ等）や、占用できる公園、使用できる広場、民間施設等の情報を整理し、発信することを検討します。

### 3 区の支援制度等の拡充

- 多様な主体によるエリアマネジメント活動が展開され、それらが連携しエリアマネジメント団体の設立へとつながるように、エリアマネジメント活動を展開しやすくなるための支援制度や、活動団体の成長を支援するための支援制度等を検討します。

（例）各種制度等の利用がしやすくなるエリアマネジメント活動の認定制度

都市再生推進法人と同様の制度活用を認める準都市再生推進法人認定制度

エリアマネジメント活動ができる場所の設定・公開

等

## 4 主体間の共通認識と連携の構築

- エリアマネジメント活動は、地域の求める QOL の向上につなげるために、各々の地域の有する個性や界限性について共通認識を構築することが重要です。このため、個人やグループ等の各主体間において、共通認識を構築できるような体制づくりや議論の場づくり、その担い手としてのエリアマネジメント団体等への支援方法を検討します。
- また、エリアマネジメント活動は、多様な主体が個別に活動するのではなく、連携して活動することで、一層多様な交流が生まれ、地域への愛着とつながりが向上することが期待されます。そのため、多様な主体間の連携方法の構築についてと議論の場づくり、その担い手としてのエリアマネジメント団体等への支援方法を検討します。

## 5 エリアマネジメント活動の地域経営化

- エリアマネジメント活動は、一度のみの活動で終わるのでなく、活動後に効果等を検証し、継続的な活動とすることや日常化を進め、地域経営化を進めていくことが重要です。そのための、活動の場所や財源等の確保、リスクマネジメントについても検討していきます。例えば地域活動で得た収益を地域に還元することを条件とした収益活動により、地域が地域のための経営をするためのエリアマネジメント活動を認めることや、地域団体等とエリアマネジメント団体が経営を一体とした活動等を行うことが考えられます。

さらに、これらの展開に向けて、エリアマネジメント活動を展開するうえで大きな役割を担うことが期待されるエリアマネジメント団体のあり方等について検討します。

### COLUMN

### 多様な主体が参画する エリアマネジメント団体による地域経営

令和4年に都市再生推進法人に指定された「一般社団法人 日本橋浜町エリアマネジメント」では、地元町会・商店会・企業・住民が連携しながら、まちの価値向上・活気あふれる地域活動を推進・支援することを目的に活動をしています。

活動の主軸として「まちの交流促進」「まちのプロモーション」「まちの環境整備」を掲げ、各会員が個別プロジェクトを立ち上げ、プロジェクト毎に人員・資金を調達し、多様なプロジェクトが展開されています。

また、多様な主体が交流し、つながる活動として、「街のリビングとなる場所」である地域交流拠点「Hama House」では、毎月地元住民と就業者等の情報交換や交流促進につながるイベントが開催され、まちの中心となる広場では、「地域と企業」「地元商店街と新住民」が交流する地域密着型のマルシェ「浜町マルシェ」が定期開催されています。

このような多様な主体が参画するエリアマネジメント団体が、地域活動の場と資金等を支えることで、多様な地域活動・イベントを起こし、地域の魅力・活力につなげていくことは、エリアマネジメント団体による「地域経営」の一つの事例として参考になるものです。

画像予定